



## パイロットアシスタンス

パイロットによるパイロットのための、サポートプログラムを開発および実施するためのガイド

# 目次

ミッション.....	1
前書き.....	1
パイロット支援プログラムとは何か？.....	1
ピアサポートのメリット.....	1
パイロットアシスタンスプログラムの利点.....	1
プログラムの種類.....	2
航空医療（Aeromedical）.....	2
クリティカル インシデント レスポンス プログラム（CIRP）.....	2
薬物乱用と依存プログラム（HIMS）.....	2
パイロットトレーニングアシスタンス.....	2
専門規格（PRO STANS）.....	2
パイロットの健康（Well Being）.....	2
成功したピアサポートプログラムのベンチマーク.....	3
パイロット主導.....	3
独立性.....	3
透明性.....	3
プロトコル.....	3
ボランティアの選択とトレーニング.....	3
機密.....	3
守秘義務の範囲.....	3
秘密保持の制限、個人情報の開示.....	3
プログラム組織.....	4
構造.....	4
運営委員会.....	4
コーディネーター.....	4
ピアサポートボランティア.....	4
ピアサポートメンタルヘルスプロフェッショナル.....	4
責任.....	4
運営委員会.....	4
コーディネーター.....	4
パイロット支援プログラムメンタルヘルス専門家/医師.....	5
法的枠組み.....	5
収入と支出.....	5
プログラムの推進.....	5
ウェブサイト.....	5
記録.....	5
トレンド分析.....	6
開始にあたって.....	7
プログラムの運営.....	7
ピアサポートボランティアの選定.....	7
トレーニング.....	7
PSV トレーニング.....	7
協会メンバーパイロット.....	8

経営、AME、医療専門家.....	8
ケース処理.....	8
コンタクトコール開始.....	8
フォローアップとモニタリング.....	8
航空医療.....	8
ミッションステートメント.....	9
前書き.....	9
用語.....	9
航空医療パイロット支援とは何か？.....	9
原則.....	9
トレーニング.....	9
適応.....	9
結論.....	10
クリティカルインシデントレスポンスプログラム.....	11
ミッションステートメント.....	11
前書き.....	11
用語.....	11
CIRP とは？.....	12
方針.....	12
原則.....	12
トレーニングの要件と資格.....	13
ピアサポートボランティアトレーニング.....	13
リカレントトレーニング.....	13
メンタルヘルス専門家（MHP）.....	14
適応.....	15
最初のステップ.....	15
毎日のイベントへの対応.....	15
大事故への対応.....	16
結論.....	
議長/コーディネーター、副議長、または経験豊富な同僚に推奨される追加コース.....	16
薬物乱用/依存関係の支援（HIMS）.....	17
ミッションステートメント.....	17
前書き.....	17
用語.....	17
原則.....	17
適応.....	17
組織構成.....	17
規制当局による承認.....	18
懲戒処分について.....	18
費用負担.....	18
リハビリ.....	18
結論.....	19
ケア契約後の例.....	19
パイロットトレーニングアシスタンス.....	21
ミッションステートメント.....	21
前書き.....	21
パイロットトレーニングアシスタンスとは何か？.....	21

方針.....	22
原則.....	22
適用.....	22
結論.....	22
専門規格 (PRO STANS) .....	23
ミッションステートメント.....	23
倫理綱領.....	23
前書き.....	23
プロフェッショナルスタンダードとは何か? .....	23
方針.....	24
原則.....	24
1. 中立.....	24
2. 守秘義務.....	24
3. 記録.....	25
適用.....	25
結論.....	26
倫理規定の例.....	27
パイロットの健康 (Well Being) .....	30
ミッションステートメント.....	30
前書き.....	30
用語.....	30
ウェルビーイングとは? .....	30
方針.....	30
原則.....	30
トレーニング.....	31
役割と責任.....	31
メンタルヘルス専門家 (MHP) .....	32
適用.....	32
範囲.....	32
ピアツーピアコンタクトのコアコンセプト.....	32
連絡手段.....	32
連絡先の境界の確立.....	32
紹介とフォローアップ.....	33
エスカレーションと紹介ポリシー.....	33
結論.....	33
ボランティアの燃え尽き症候群を回避する.....	34
会員団体が利用できるリソース.....	34
別添 A : エスカレーショントリガーとプロトコルの例.....	35
医療専門家への紹介.....	35
「Fitness for Duty」が侵害された場合のフライトの安全性確保.....	35
別添 B : 心理学者サービスレベル契約の例.....	37

## ミッション

このマニュアルは、パイロットを支援するプログラムを確立および強化するパイロットメンバー協会を支援し、その設立を支持するためにオペレーターおよび規制当局がこれらのプログラムの開発を理解できるようにすることを目的としています。

## 前書き

パイロットアシスタンスは、ピアサポートプログラム全体に与えられる包括的な用語です。ピアプログラムは、仲間のパイロットをサポートするボランティアとしてトレーニングされ、機密プロトコルを維持しながら、適切な場合は専門家のリソースを紹介します。

このマニュアルは、世界中のパイロット支援プログラムで長年の経験を持つパイロットの専門家によって作成されました。そのようなプログラムを確立して強化するためのガイダンスとベストプラクティスを提供します。

## パイロット支援プログラムとは何か？

このマニュアルでは、パイロットアシスタンスは、ピアサポートを使用して、安全で懲罰のない環境で苦痛または懸念を引き起こしているトピックについて仲間の同僚または同僚と経験を共有するプログラムのグループを指します。

パイロット支援プログラムは、機密のピアベースのサポートとパイロットへの支援を提供します。これは、訓練を受けたピアボランティアがパイロットのキャリアを維持し、航空の安全性を高めることを目的としたイニシアチブです。

## ピアサポートのメリット

パイロットボランティアは共通の専門用語を話し、共通の実務経験を共有するため、ピアサポートが機能します。多くの場合、パイロットはパイロットピアを信頼して信頼します。このため、ピアサポートプログラムには、従業員支援プログラム (EAP) よりも優れた独自の利点があり、航空会社に安全性と効率性をもたらします。

## パイロットアシスタンスプログラムの利点

パイロット支援プログラム：

1. パイロットに支援を求める権限を与え、必要に応じてカウンセリング、治療、リハビリテーションへのアクセスを提供します。
2. 問題を安全に解決するための秘密の経路を提供します。
3. ピアを使用して問題を早期に管理できるようにします。
4. 自発的な性質のため、効率的で費用効果が高い。
5. 免許、職、および生計を失うことを恐れることなく、スタッフのモチベーションを維持し、問題への対処を奨励しながら、病気の発生率と欠勤を減らすことができます。
6. オペレーターが高度に熟練したパイロットを失ったり、新しいパイロットを雇ったり訓練したりするのではなく、従業員を保持できるようにします。
7. 重要なイベントに対する回復力と回復を改善します。

これらの利点などにより、パイロットアシスタンスプログラムは航空の安全性を高めます。

## プログラムの種類

パイロットアシスタンスプログラムは、パイロットがさまざまな分野の問題に対処するのを支援します。個々のパイロット支援プログラムの種類と構成は、加盟協会のニーズと利用可能なリソースの量に依存することに注意することが重要です。会員団体は、国や文化の多様な問題に基づいて独自のプログラムを開発する必要があるかもしれません。さまざまなプログラムとその基本的なベンチマークについては、対応する章で詳しく説明しています。

加盟協会は、総合的なアプローチでは、医療免許、重大インシデント対応、薬物乱用、トレーニング支援、専門的基準、および健康に対処するパイロット支援プログラムの完全な補完が、病気の発生率や欠勤を低減するのに役立つ最大限の範囲で実施される必要があることを考慮する必要があります。

## 航空医療（Aeromedical）

航空医療プログラムは、航空医学および医療関連の問題に対処し、医療ライセンスの問題または懸念を持つパイロットをサポートします。

## クリティカルインシデントレスポンスプログラム（CIRP）

クリティカルインシデントレスポンスプログラムは、事故や重大なインシデントが発生した場合にパイロットが支援とサポートを利用できるようにします。このプログラムは、重大なインシデントストレス管理の問題に関するガイダンスとデータを提供します。

## 薬物乱用と依存プログラム（HIMS）

薬物乱用および依存プログラムは、仲間の介入および治療プログラムを実装および維持するための取り組みを調整します。このような取り組みには、仲間のボランティア、航空会社の代表者、および化学的依存症の影響に苦しんでいるパイロットを医療的に再認定し、できる

だけ早くラインに戻ることを目標とした医療従事者の教育が含まれます。

## パイロットトレーニングアシスタンス

パイロットトレーニングアシスタンスプログラムは、オペレーターと協力して、トレーニングまたはラインオペレーションで困難を経験しているパイロットを支援する相互に同意できるプログラムを開発および実装するための取り組みを調整します。目的は、トレーニング中のすべてのパイロットが、通常のトレーニングインストラクター、試験官のグループの外の経験豊富なピアにアクセスしてサポートすること、またはトレーニング、パイロットのスキルの不足、またはCRMの問題が発生した場合にパイロットをチェックすることです。このプログラムは、トレーニング/チェックイベントを十分に完了し、ライン運用に戻るために、パイロットがトレーニングやスキルの問題を克服するために必要なサポートと追加のトレーニングを受けることを保証します。

## 専門規格（PRO STANS）

プロフェッショナルスタンダードプログラムの目的は、日常の運用における安全域を拡大するために、パイロット間で最高レベルのプロフェッショナルの行動を促進および維持することです。このプログラムは、パイロットが関わる専門的または倫理的性質の問題に対処するだけでなく、フライトデッキの安全性や専門性に影響を与える可能性のあるパイロットの行動を解決するのに役立ちます。プログラムが成功すると、2人のパイロット間、またはパイロットと別の従業員グループのメンバー間で発生する可能性のある、フライトデッキの安全性に影響を与える可能性のある競合をピアが解決できます。

## パイロットの健康（Well Being）

Pilot Wellbeing プログラムは、人間関係や健康、職業上のパフォーマンスに影響を与える可能性がある個人的な危機やストレスの中でパイロットをサポートします。

## 成功したピアサポートプログラムのベンチマーク

### パイロット主導

これらのプログラムには複数の利害関係者が関与し、複数の参加者がいる場合がありますが、パイロット向けにパイロットによって提供および実行されます。これらのプログラムはパイロットグループによって運営され、経営陣、規制当局、医師、その他の外部組織によって運営されないことが重要です。

### 独立性

パイロットピアサポートプログラムは、パイロットへのピアサポートの提供に特化した、独立した自律的な「安全な避難所」として機能します。

### 透明性

パイロットピアサポートプログラムは、会員の賛同を得るために信頼と誠実さをもって行動し、利害関係者の賛同をもたらす明確なプロトコルを提供する必要があります。

核となる価値、構造、役割、制限、運用原則など、提案されたプログラムの範囲と制限を明確にし、トレーニングに関係者を含めることを提案することで、プログラムの設計と方法論への信頼を促進し、関係者からの信頼を促進する。

### プロトコル

確立されたプロトコルの維持には、機密保持契約、ピアサポートボランティア（PSV）の範囲と制限の宣言、およびフライトまたはパイロットの安全が危険にさらされている場合のエスカレーション手順が含まれます（ピアサポートプログラムのエスカレーションプロトコルの例は、別紙 A に含まれています）。参加者とピアの両方に対してオープンで透過的な方法でこれらのプロトコルを定義することで、すべての関係者が機密性を維持しながら、プログラムに対する信頼を築くことができます。

### ボランティアの選択とトレーニング

PSV の選択とトレーニングは、プログラムの有効性の不可欠な部分を形成します。必要に応じて、外部の専門知識を参考にして、トレーニングプログラムの品質と能力を確保できます。

### 機密

#### 守秘義務の範囲

守秘義務は、与えられた情報がその形式や出所に関係なく、プログラム内にとどまることを要求します。収集

されたすべての情報は、それが取得された目的、特にパイロットへのサポートを提供する目的にのみ使用できます。関係者全員が機密性を守る必要があります。これは、同僚やコンサルティング医療専門家が以下を行う必要があることを意味します。

1. ケースに関連する情報をプログラム以外の誰とも共有しないでください。これには、配偶者/重要な他人および聖職者が含まれます。
2. 記録を残さないでください。ただし、定期的な匿名化された統計レポート（少なくとも年 1 回）は、プログラムの有効性を評価する必要がある場合があります。特に小企業では、匿名化されたデータが個々のケース ID を誤って明らかにしないように注意する必要があります。
3. チームメンバーとであっても、パブリックエリア（例：トイレやレストラン）での議論や携帯電話の通信には関与しません。
4. 個人の状況を他のパイロットと共有せず、自分の状況を理解するのを助ける手段として、またはトレーニングの例として。航空は小さな世界であり、名前について言及しなくても、誰かの身元を推測できる可能性があります。

パイロットに関するすべての情報は、ボランティアのディスカッション、レビュー、または監督で匿名化されます。パイロットまたはその家族を支援する必要がある場合、パイロットの許可を得て行われます。

### 機密保持の制限、個人情報の開示

安全性が損なわれる可能性がある場合の機密性には限界があると理解されています。これは、既知の深刻な安全上の懸念がある場合にパイロットが仕事に出向かないことを雇用主に保証するためです。このようなケースをエスカレーションして操作を保護するには、明確なプロトコルが必要です（ピアサポートプログラムのエスカレーションプロトコルの例は、別添 A に含まれています）。

次の場合を除き、パイロットの個人情報は開示されません。

- 1) 裁判所または裁判所により召喚された。
- 2) 自分自身や他の人に危害を及ぼす深刻なリスクがあります。
- 3) パイロットからの事前の同意を得ている：
  - a) 別の専門家または機関に書面による報告を提供する。または
  - b) 他の人と資料を話し合う。親、雇用主、または医療提供者。

## プログラム組織

パイロット支援プログラムの組織は、その最終的な成功において重要な役割を果たすことができます。この章では、パイロットアシスタンスプログラムの構造、主要なポジションの責任、法的枠組み、資金調達、プログラムプロモーション、および記録保持要件について説明します。

注：さまざまなメンバー協会で使用されている用語は、このセクションで使用されているものとは異なる場合があります。

### 構造

#### 運営委員会

パイロット委員会は、パイロットアシスタンスプログラムごとに形成され、その分野の専門家であるパイロットのグループで構成されます。彼らは、プログラムとコーディネーターに監督と指示を提供します。

#### コーディネーター

コーディネーターは、パイロットアシスタンスプログラムの特定の側面の日常業務を担当し、ピアサポートボランティア（PSV）のワークロードを調整します。各プログラムのコーディネーターの位置は、運営委員会の任命によって満たされる必要があります。1人のコーディネーターがいない場合に備えて、責任を共有し、カバレッジを提供するには、少なくとも2つのポジションが必要です。

#### ピアサポートボランティア

ピアサポートボランティア（PSV）は、共感、思いやり、理解、思いやり、洞察の属性を実証したパイロットです。ピアチームのメンバーは、感情的な成熟度と人々と協力する能力に基づいて選択されます。彼らは献身的で思いやりのある人々であり、仲間を支援するために時間と才能を自発的に提供する用意がある。

#### ピアサポートプログラムメンタルヘルスプロフェッショナル

パイロット支援プログラムメンタルヘルス専門家（MHP）は、専門家によるケアの提供を通じてパイロットアシスタンスプログラムをサポートします。これらの専門家には、登録カウンセラー、精神科医、心理学者、ソーシャルワーカーが含まれます。彼らはパイロットの医療証明書の固有の属性に精通している必要があります。現在、彼らの診療分野でライセンスされています。メンバー協会は、これらの役割のために選択された医療専門家とサービスレベル契約を締結することを選択できます（心理学者サービスレベル契約の例は、別紙Bに含まれています）。

### 責任

#### 運営委員会

運営委員会は、プログラムの目的、範囲、原則の適用を調整および監督します。運営委員会は、ポリシー、ト

レーニング、教育、リソース、プログラムレビュー、手続きの実施を担当します。

#### タスク

運営委員会：

- 1) 訓練する PSV の選択を監督し、
- 2) 必要な場合、コンサルティングを提供する航空専門の心理学者または医師を選択します。
- 3) 参加組織（協会および/または運営者）によって提供された、プログラムの目的を実現するために資金/リソースの使用を監督する。
- 4) 予算と資金の分散に関する年次監査済み会計を提供し、
- 5) 教育目的または苦情に対処するために匿名化されたケースをレビューし、
- 6) プログラムを定期的にレビューして、その効果を確認します。
- 7) 匿名化されたデータを通じてピアコンタクトの理由を評価し、職場環境に関連する傾向を評価します。
- 8) 社会またはメディアからの問い合わせに対応します。

#### ミーティング

運営委員会は、タスクを実行するために必要に応じて会合します。

#### コーディネーター

コーディネーターは

- それぞれのパイロットアシスタンスプログラムの日々の運用
- 状況に最も適した利用可能な PSV を割り当てるための連絡と連絡先の調整。
- PSV ワークロードが適切に共有されるように連絡先を割り当てる
- 二次的外傷と燃え尽きを防止するための PSV の監視
- ケースの監督のために、プログラム心理学者/医師、または必要に応じてオペレーターと連絡をとること。
- 必要に応じて運営委員会に報告するために匿名化された統計データを照合する。
- PSV の初期および更新用のトレーニングモジュールの配置。



## パイロット支援プログラムメンタルヘルス専門家/医師

パイロット支援プログラムの航空スペシャリストは以下のメンタルヘルスの専門家/医師が責任を負う

- ピアサポートプログラムを通じて紹介されたケースの取り扱い
- 長期のケアが必要なリファー先を提供する、
- 航空の心理的/医学的問題に関する迅速で正確で独立したアドバイスを提供する
- 政府の法律の変更に関するパイロットアシスタンスプログラム、および/または航空の心理学/医学に関連する問題についての規制当局のポリシーレビューに関する協議の提供
- 時折発生する可能性のある、相互に合意したその他の問題。

## 法的枠組み

パイロットアシスタンスプログラムを実装する場合、規制当局、オペレーター、パイロット協会との共同イニシアチブであることが有益な場合があります。システムは明確で透明でなければなりません。プログラムが上級管理職レベルで承認されることは有益ですが、そのような承認はパイロット支援プログラムの実施の要件ではありません。

ICAO 付属書 1 の標準 1.2.4.3 は 2016 年 7 月に発効し、2018 年 11 月に州に適用されます。認可機関は「航空関連の健康増進...将来の医療安全への医療リスクを低減するため」を実施する必要があります。

- FAA は 2016 年 6 月に勧告を発表し、パイロットピアサポートプログラムを開発するために航空会社が使用する必要があるベンチマークピアサポートプログラムに関する情報を提供しました。
- EASA はまた、最終報告書「ジャーマンウイングスフライト 9525 事故後の対策に関するタスクフォース」(5.2 パイロットサポートの組織的要件)でピアサポートプログラムを推奨し、次のように述べています。「パイロットサポートシステムの実装は、オペレーターとパイロット協会の両方からの共同イニシアチブ。パイロットからの賛同に貢献します。

規制当局は、援助を公に求める個人からの免許を取り消す前に、拘束力を示すことを含め、パイロット支援に対する加盟協会の取り組みを理解し、支援する必要があります。

異なるレポートシステム間の接続を確立する必要があります。報告ループを閉じて、規制当局を含むシステムの参加者が、特に重要な場合に、情報に基づいた決定を行うために必要な情報に確実にアクセスできるようにする必要があります。

各ピアサポートプログラムは、プライバシーなどに関する国の法律に準拠する必要があります。

## 収入と支出

パイロットアシスタンスプログラムに参加している各組織は、その金融業務の取材を約束する必要があります。

受け取った資金は、必要な場合を含め、パイロットアシスタンスプログラムの運営に資金を提供するために使用する必要があります。

- 資格のある心理学者/医師のサービスを利用する
- ピアサポートプログラムのケースへの対応
- PSV のトレーニング
- ピアサポートプログラム委員会会議、および
- ウェブサイト、パンフレット、ポスターの開発
- パイロット支援プログラムに関する航空業界の教育を目的としたその他のイニシアチブ。

## プログラムの推進

パイロットが利用可能なサービスを認識し、プログラムの作業に快適であることを確認するには、パイロットアシスタンスプログラムを管理者と会員協会の両方が積極的かつ定期的に推進する必要があります。プログラムを推進する際の重要な要素は、助けを求める偏見を減らすことです。

加盟協会は、パイロットアシスタンスプログラムの情報を航空会社の運用マニュアル、契約方法、緊急対応手順に含めると便利な場合があります。また、National Health Services / EAP からの支援またはサポートがパイロット支援プログラムに有益であるかどうかにも検討される場合があります。

## ウェブサイト

パイロットアシスタンスプログラムのウェブサイトは、仲間に医療/メンタルヘルスリファレンスと教育ツールを提供するために開発する必要があります。

## 記録

委員会の会議中、議事録をとるべきです。ピアを特定できるケース関連の詳細が含まれないように注意す

る必要があります。パイロットアシスタンスプログラムの成功には機密情報が不可欠であるため、個々の委員会メンバーまたは個々のケースに関する PSV は特定解除する必要があります。

PSV は同僚のケースについてメモをとるべきではありません。各連絡先の理由は匿名化し、パイロット支援運営委員会に報告する必要があります。

## トレンド分析

収集されたデータは、個人情報またはケース固有の情報から匿名化して、逆の識別に使用できるようにする必要があります。データは、職場の慣行を改善し、プログラムの有効性を監視し、トレーニングモジュールを開発するために、傾向を特定することのみを目的としています。

## 開始にあたって

- ピアサポートボランティア (PSV) のグループを集める：
  - 宣伝する
  - 面接を行う
  - 可能であれば、ピアと航空会社の管理職を教育する
- 通知/通信チャンネルの方法を確立する
- 統治機関（組織構造）を確立する
- MHP を航空知識で契約する（構造を実行するためではない）
- ガイダンス、ヘルプ、経験については、既存の IFALPA プログラムを参照してください

注：リソースが限られているメンバー協会の場合、IFALPA を通じて追加のサポートを利用できます。

## プログラムの運営

### ピアサポートボランティアの選定

ピアサポートボランティア (PSV) 選択の基準として、次の基準を強くお勧めします。

1. 誠実さ。
2. 機密情報を維持および処理する能力。
3. 仲間を尊重する。
4. チームメンバーとして働く意欲。
5. 初期およびリカレントトレーニングと報告会に出席することへのコミットメント。
6. 確立されたプロトコルとチーム標準に従うことへの同意。
7. 中立的な態度を維持します。

PSV は、PSV の役割とその境界を遵守します。

- 解決策、アドバイス、カウンセリング、または治療を提供しない。
- 困っている人のために行動しない。
- 個人のストレス、不安、気分低下、メンタルヘルスの問題について懸念を抱く従業員と雇用主のための秘密の連絡窓口を提供します
- ピアコンタクトの管理に関する適切なサポートと支援を提供します。PSV の役割と範囲は、次のドキュメントによって定義されます。
  - PSV 機密保持契約
  - スコープの PSV 制限
  - エスカレーショントリガーと、メンタルヘルスプロフェッショナル (MHP) または医療専門家への紹介のためのプロトコル。
  - フライトの安全性が危険にさらされている場合に、エスカレーションのトリガーとプロトコルを義務から降格する
- 復習トレーニングに参加する必要があります。
- 事件に関するパブリックコメントを拒否し、委員会に付託すべきである。

### トレーニング

すべてのパイロットピアサポートプログラムの担当者ボランティアは、IFALPA が承認した、各プログラムに適したトレーニング基準に従ってトレーニングする必要があります。成功したプログラムは、ピアサポートボランティアだけでなく、他の会員協会のパイロット、経営陣、航空医学検査官、医療専門家もトレーニングします。証拠は、経営陣がプログラムのしくみとその効果を明確に理解している場合、はるかに支援的であることを示しています。

### PSV トレーニング

「Do No Harm」の原則は、サポートするための最も単純なアプローチです。ピアは、この落とし穴を回避できるように訓練されています。PSV トレーニングは、対象分野のエキスパートインストラクター/ファシリテーターが実施する必要があります。リストは包括的ではありませんが、以下の領域をカバーする必要があります。

- ピアサポートコールの開始と指示に必要なスキル
- リスニング能力、
- 航空におけるメンタルヘルスと安全の危険因子の分析、
- 人間の心と体がストレス要因にどのように反応するか、そしてメンタルヘルスの問題がどのように進展するかを理解し、
- 薬物乱用を病状および業界全体の薬物依存症プログラムとして理解するための基本事項、
- 紛争解決プロセス、
- 医療規制に関する考慮事項（特に、特定のメンタルヘルス航空プロトコル）
- トラウマとストレス管理
- 自殺防止プロトコル、
- 法的枠組み、
- 機密性プロトコル、
- ケースエスカレーションのトリガーとプロトコル、
- PSV スコープの制限、•ロールプレイサポートコール、
- 悲しみと喪失、そして

- PSV セルフケア。

### 協会メンバーパイロット

会員協会のパイロットは、パイロット支援プログラムとは何かについて訓練を受ける必要があります。プログラムは懲罰的ではなく、機密情報であり、フライトデッキに戻ることを目的としてパイロットにサポートネットワークを提供することを理解している。

### 経営、AME、医療専門家

- 一連のパイロットアシスタンスプログラムに関するトレーニング。
- パイロット問題の理解。
- パイロットアシスタンスプログラムで彼らが果たす役割。

## ケース処理

### コンタクトコール開始

援助を求めている、または必要としている個人との接触は、いくつかの方法で行われる場合があります。

- 自己主導。個人がセルフリファーすることがあります。
- 会社主導。パイロットについて心配している会社のマネージャーは、個人がパイロットピアサポートプログラムに連絡することを提案する場合があります。あるいは、会社のマネージャーがパイロットピアサポートプログラムに電話をかけ、パイロットピアに個人に直接電話をかけることを許可すること

もできます。

- ピア/ファミリー主導。家族、友人、または同僚が、個人の健康について懸念を表明する場合があります。
- 長期（30 日以上）の疾病へのコンタクト。長期間仕事を休んでいる同僚は、連絡を取り、望ましくない孤立を避けるために呼び出されるべきです。

### フォローアップとモニタリング

すべての PSV 対話は、完了するまで追跡する必要があります。フォローアップは次のように分類する必要があります。

- 継続： PSV が進行状況を感知した場合、支援は実りが多く有益であり、継続する価値があります。
- リファー、進行： 反すうや退行が明らかな場合は、パイロットピアサポートプログラムの心理学者に紹介することを検討してください。PSV のフォローアップは引き続き期待されますが、「完了」するまでは低いレベルです
- 完了： アシスタンスケースが正常に解決されたと感じられる場合、フォローアップは不要です。

PSV は、ピアの連絡先が「継続中」、「照会済みおよび継続中」、または「完了」であるかどうかをコーディネーターに報告する場合があります。

# 航空医療

## ミッションステートメント

航空医療パイロット支援プログラムは、パイロット医療認定に関する事項に関する情報とリソースを提供します。

### 前書き

航空医療パイロット支援プログラムの目的は、メンバーが正確な医療情報にアクセスするためのリソースを提供することです。このリソースは、医学的問題および関連するライセンス問題に対処し、わかりやすく説明するのに役立ちます。パイロットが医療を失うことを恐れると、彼らは医療アドバイスを求めることを思いとどまらせることができます。危険のない環境で早期に正確なアドバイスをアクセスできると、パイロットを安心させ、適切な医療処置を求めるよう促すことができます。

このセクションは、このマニュアルに含まれる次のセクションと併せて読む必要があります。

- 守秘義務と法的義務
- トレーニング
- 一般的なピアサポートプログラムポリシー

### 用語

医療アドバイザー: 航空医学に関連する知識と専門知識はあるが、現在の航空医学検査官 (AME) である必要はない医療専門家。

## 航空医療パイロット支援とは何か？

航空医療パイロット支援により、パイロットは専用の支援プログラムを介して適切かつ正確な航空医療情報を取得できます。

すべての航空医療パイロット支援プログラムの共通の特徴は、医療情報を求めるパイロットのための焦点窓口を持つことです。これは医療専門家である必要はなく、典型的にはパイロットの仲間です。この人が医療専門家のネットワークにアクセスできることが重要です。

一部の加盟協会は、現場に産業医療専門家を派遣してアドバイスを提供しています。他には、サービスレベル契約で定義されている必要に応じてサービスを提供する医療専門家との取り決めがあります。すべての場合において、専門家へのアクセスは、中心的な連絡担当者を通じて促進されます。

さらに、パイロットが医療を失った場合、プログラムはアドボカシーまたはアドバイス、あるいはその両方

を提供して、メンバーとその医療検査官が上訴の最善のケースを提示するのを支援する上訴プロセスをサポートできます。このプロセスでは、メンバー自身の AME をサポートすることではなく、サポートすることを目的とすることに注意することが重要です。

### 原則

- 関係する医療専門家は、関連する医療分野と航空環境への応用に関する最新の知識を持っている必要があります。
- 目的は、航空医療に関する迅速かつ正確で独立したアドバイスを提供することです。
- 適切な場合、プログラムは、診断書の一時停止または失効の場合の控訴プロセスに関するアドバイスへのアクセスを容易にします。
- プログラムは、ケースの比較のために、地元および国際的な航空医学研究および航空医学の同僚にアクセスする必要があります。
- プログラムは、法律の変更、および/または航空医学に関連する問題に関する規制ポリシーのパイロット入力を提供する必要があります。

### トレーニング

中心的な連絡担当者、通常パイロットピアは、州の航空医療規制プロセスについての実用的な知識を持っている必要があります。これには、医療認定に関するライセンス所有者の義務を理解することが含まれます。さらに、基本的なピアアシスタンストレーニングを完了し、他のパイロットアシスタンスプログラムに精通している必要があります。

### 適応

医療専門家のサービスを採用するときは、適切な審査プロセスを使用して、医療専門家の専門知識を確保する必要があります。医療専門家の役割と責任を概説するサービスレベル契約は、そのようなサービスを維持する場合に役立ちます。

メンバーは多くの状況で航空医学のアドバイスを求めることができますが、3つの状況が一般的に発生します。

- パイロットは、意思決定を導くために、匿名で航空医学情報を探すことを選択できます。このシナリオ

では、ピアがガイダンスを提供する必要があるメディカルアドバイザーにアプローチし、パイロットは安全な意思決定に向けてパイロットに助言します。パイロットには、報告要件を満たす義務があります。

- パイロットは、規制当局がとった立場に上訴することを求めるかもしれません。航空医療プログラムは、パイロットと AME に対して、控訴プロセスと行われる可能性のある議論について助言する場合があります。ケースの全体的な航空医療管理の責任を負うのはパイロットの AME です。
- パイロットは、AME の立場についてセカンドオピ

ニオンを求めることができます。専門家は、ケースのレビューとアドバイスのみを提供します。

## 結論

航空医学のパイロット支援を提供することにより、メンバー協会は、メンバーの診断書が脅威にさらされていると信じる場合に発生する可能性のある不確実性に対処するメンバーの経験を改善できます。

# クリティカルインシデントレスポンスプログラム

## ミッションステートメント

クリティカルインシデントレスポンスプログラム（CIRP）の使命は、職場での事故または乗務員、事故調査官、およびその家族に対するインシデントの心理的影響を軽減し、有害なストレス反応が職務遂行能力、キャリアに影響を与える前に、これらのイベントからの回復を加速することです。 、家族、そして健康。事故や事件の前後に行われる前向きな措置は、短期的および長期的な生理学的および心理的健康に影響を与えます。 CIRP 対策は治療ではなく、異常で危機的な状況に対して正常な反応を示す健康な人をサポートするためのものです。

## 前書き

このマニュアルは、会員団体が CIRP を設定するのに役立つように作成されています。また、オペレーターや規制当局が CIRP の構造と手順を理解するための透明なガイドとしても機能します。

このセクションでは、まず、国際クリティカルインシデントストレス財団（ICISF）の用語に基づいて、CIRP の国際的に合意された基本的な定義を紹介し、次に、歴史、方針、原則、トレーニング方法、および実装について説明します。

## 用語

**重大インシデント**：ストレス反応を引き起こし、生命または個人の安全に対する知覚された脅威のために恐怖を引き起こす可能性があり、直接的または間接的に経験されるあらゆる出来事。インシデント、事故、またはその他の安全感に対する脅威の結果として発生する可能性があります

**クリティカルインシデントストレス**：クリティカルインシデントに対する身体的、認知的、行動的、または感情的な反応で、通常は特徴的な一連の症状として現れます。サポートの有無にかかわらず個人によって適切に管理されない場合、それは長期的に有害な身体的または心理的影響を与える可能性があります。

**クリティカルインシデントストレス管理（CISM）**：ストレスの影響を緩和するのに役立つプロセス。

**CIRP**：クリティカルインシデントレスポンスプログラム-クリティカルインシデントに関与するすべてのライセンス所有者に支援を提供するように構成されたプログラム。

**危機管理ブリーフィング（CMB）**：大規模なグループで使用するために設計された介入手法。これは、すでに悲惨な出来事を経験した、または経験しようとして

いる大勢の人々に、実用的でストレスの少ない情報を提供するという特定の目的を持つ会議です。典型的な期間は 10～30 分です。

**クリティカルインシデントレスポンス（CIR）**：ピアサポートチームと付随するメンタルヘルスプロフェッショナル（必要な場合）によって提供される、組織化された統合されたレスポンスで、危機の期間中に実施され、危機後のフェーズに進みます。対応には、ピアサポートの会話、混乱の防止、報告、危機管理の報告など、さまざまな介入が含まれます。

**混乱**：乗組員が事故や事故の影響に対処できるように情報、サポート、安定化を提供しながら、乗組員の共有経験について話し合うように設計されたグループインタラクション。重要なインシデントから 1 時間から 12 時間、1 週間から 2 週間程度で、混乱を解消できます。 Defusing は、1～3 人の割り当てられたピアサポートボランティアによって支援された小さなグループです。クリティカルインシデントストレスの報告の必要性について評価が行われます。混乱防止は、約 1 時間続く 3 ステップのプロセスであり、フォローアップコミュニケーションが必要です。 Defusing は機密情報であり、管理担当者は関与しません。

**デブリーフィング/クリティカルインシデントストレスデブリーフィング（CISD）**：長期的なストレスの影響を緩和し、迅速な回復と職務復帰を促進し、ストレストラウマシンドロームの発生を減らすように設計された 7 つのステップのプロセス。この報告は通常、事故や事件の約 1 週間後に行われます。ただし、数週間、数か月、さらには数年後に行うこともできます。

CISD は、ピアサポートボランティアによって実施され、常に、協会の承認を受けたメンタルヘルス専門家が含まれています。報告は機密事項であり、管理担当者は関与しません。 CISD は運用上の報告ではありません（ロジスティクス調査または批評のためにオペレーターが使用）。これらは、関係する個人にサポートを提供し、ストレス反応の長期的な影響を軽減するた

めに行われます。CIRPの報告では、イベント自体ではなく、イベントに対する乗組員の反応について話合います。報告の間、記録やメモは保存されません。典型的なCISDは11/2から3時間続きます。

**動員解除：**重大な外傷性のイベントまたは災害への暴露を含む事故またはインシデントに取り組む最初のシフトの終わりに、事故調査官および/または緊急サービス担当者が休憩し、再編成し、情報を得る時。それは、ピアサポートボランティア(PSV)のスクリーニングの機会としての二次的な機能を果たし、外傷性イベント後に支援を必要とする可能性のある個人を確実に特定します。

**従業員支援プログラム(EAP)：**企業が後援するメンタルヘルス/精神的支援プログラム。

**International Critical Incident Stress Foundation (ICISF)：**非営利のオープンメンバーシップ財団で、ストレスを無効にすることの防止と緩和に取り組んでいます。

**メンタルヘルスプロフェッショナル(MHP)：**吟味された精神科医、心理学者、修士レベルのカウンセラー、またはCISMプロセスのライセンスを受け、トレーニングを受け、グループプロセス、危機介入、ポストプロセスに豊富なバックグラウンドまたはエクスパーティーズを持っているメンタルヘルスプロフェッショナル外傷性ストレス障害、および重大なインシデントストレス管理手法の知識。

**一対一/個別の危機介入：**通常、これは個人との2~3つの連絡先で構成されます。これは、最も頻繁に使用されるクリティカルインシデントストレス管理(CISM)技術であり、電話で実施されることがよくあります。

**アウトリーチ：**乗組員の客室と基地に焦点を当て、航空会社での重大な事故後の一定期間、航空会社のパイロットとの簡単なやり取りを提供します。この相互作用は、作業を続けながら事故のストレスに対処するための技術を提供するように設計されています。これには、重大なインシデントストレス、ストレス症状、およびその後の24~72時間、または正式な報告が行われるまでに役立つ可能性のある提案についての議論が含まれる場合があります。

**ピアサポートボランティア(PSV)(ピア)：**MAメンバーとその家族のサポート担当者として行動する個人。これらは、デフューズ、CISD、1対1などのCISM機能を促進します。また、CIRPをメンバー全体に宣伝することにも関与しています。PSVは通常、仲

間との信頼と尊敬の立場を享受するMAメンバーボランティアです。彼らは直接CIRPの議長/コーディネーターまたは彼らの被指名人に報告します。

## CIRPとは？

航空事故や事故はしばしば関係者に苦痛を引き起こします。これらの出来事の余波で、乗組員、事故調査官、およびその家族は、重大な事件ストレスまたはより深刻な心的外傷後ストレス障害を発症するリスクが高い。

重大なインシデントストレスは、異常なイベントに対する通常の反応です。航空業界で働く人々は、日常業務の一部としてストレスを感じています。彼らは、過度のストレスが潜在的に損傷を与える可能性がある場合を認識しない場合があります。医学界は、これらの事故や事件の余波で、数ヶ月または数年にわたって生理学的および心理的悪影響が感じられる可能性があることを認めています。未解決のままにしておく、これらの影響は健康とキャリアに深刻な悪影響を及ぼす可能性があります。これらの悪影響は、航空の安全性に影響を与える可能性があります。

CIRPを他のプログラムと区別するのは、仲間のパイロットを教育しサポートするために、メンタルヘルスプロフェッショナル(MHP)だけでなくPSVを使用することです。航空業界の独自の性質と、キャリアと生計に潜在的な影響があるため、乗組員は多くの場合、精神科医、心理学者、またはカウンセラーと話すことに消極的です。

重要なインシデント対応プログラムは、救急医療サービス(EMS)の担当者、消防士、警察などの心的外傷後ストレスの発生を防ぐのに効果的です。このセクションに含まれる情報は、International Critical Incident Stress Foundation, Inc. (ICISF)によって開発されたCritical Incident Stress Managementプログラムを基にしています。

## 方針

CIRPはICISFの3ステップまたは7ステッププロセスを使用して支援する自律プログラムです

パイロットは、仕事関連のイベントや事件の後のストレス反応に対処します。CIRPの実施における実践の世界的な標準化を目的として、すべてのプログラムをICISFの手順に合わせることを強く推奨されます。

## 原則

- CIRPは完全に自発的です。個人が何らかの形で参加を強制されることはありません。



- 目標は、支援を求める人々に害を及ぼさないことです。
- CIRP は治療ではありません。異常な危機的状況への正常な反応を持つ健康な人をサポートするのは、そこだけです。
- すべての PSV は、定期的な反復トレーニングを含む広範なトレーニングプログラムを完了する必要があります。
- プログラムの管轄区域は、オペレーターとは別に、パイロットグループ内に留まる必要があります。
- プログラムは常に見直しを行い、定期的に更新する必要があります。事故後/インシデントの報告と分析は、プログラムの有効性の評価を通知するために使用されます。
- プログラムは、PSV が適切な支援とリソースを利用できることを確認して、仲間のパイロットに最善のサポートを提供できるようにする必要があります。
- パイロットと CIRP の間の明確で確立された連絡方法を確立する必要があります。
- サポートクルーまたはライセンスホルダーの時間枠は、CIRP が通知された後できるだけ早く始まります。
- パイロットピアを使用して、影響を受けるパイロットと協力し、独自の航空会社の環境を理解した安全で信頼できる文化を構築します。
- パイロットとパイロットピアの間で共有される情報を経営陣、規制当局、および/またはその他の協会メンバーに開示しないことにより、機密性を維持します。メモや記録は保持されません。
- 重大なインシデントを目撃したり、生き延びたりする際に、コントロールの喪失や無力感を克服するために個人をサポートするアプローチを採用します。
- 必要に応じて、継続的なサポートと利用可能なリソースへのアクセスを個人に提供します。
- 必要に応じて、他のリソースと支援を提供します。
- CIRP は、事故や事件が発生した場合に、生存している家族に注意を払う必要があります。
- パイロットピアは、インシデントの関係者と個人的にまたは密接に関連している場合、サポートの提供に参加しません。

## トレーニングの要件と資格

すべてのプログラムメンバーの教育は CIRP の基礎です。CISM は、個人に対するトラウマの影響を最小限に抑えるための積極的なアプローチです。予防的アプローチの一環として、事故や事故が発生する前に、乗組員にストレスや重大な事故によるストレスが自分たちの生活に及ぼす影響について教育します。この認識があ

れば、乗務員は短時間で仕事に戻ることができます。インシデントまたはアクシデントの前に CIRP を知っている場合、それは個人にとって非常に有益です。

## ピアサポートボランティアトレーニング

ピアサポートボランティア (PSV) のトレーニングには、以下のトピックまたは CIRP グループの議長/コーディネーターが承認した同等のトピックが含まれる場合があります。

- 心理的危機と心理的危機の介入
- ピアサポートテクニック (メンタルヘルスの専門家は免除)
- グループ危機の介入/基本的な重大なインシデントストレス
- MA のクリティカルインシデントレスポンスプログラムコースの概要
- 悲しみ
- ピアアシスタンストレーニングまたはリスニングスキルコース

各協会の PSV は、適切なトレーニングを完了するまで、CIRP の介入に参加したり、ピアサポートの職務を割り当てたりすることはできません。PSV は、少なくとも年に 1 回は定期的なトレーニングに参加する必要があります。

## おすすめコース

PSV は以下の 2 日間のコースをリストされた順序で受講することをお勧めします。

## 個別の危機介入とピアサポート (ICISF / CIRP 承認済み同等物)

このコースで取り上げるトピックは次のとおりです。

- 心理的危機と心理的危機の介入
- 耐性、回復力、回復の連続性
- 重要なインシデントストレス管理
- 証拠に基づく実践
- 基本的な危機コミュニケーション手法
- 一般的な心理的および行動的危機反応
- 一般的に受け入れられているテクニック
- SAFER 改訂モデル
- 自殺介入
- 医原性のリスク (不注意により誘発される)
- 医師または外科医によって、あるいは医学的治療または診断手順によって)「危害」

## グループ危機介入 (ICISF / CIRP 承認済み同等物)

このコースで取り上げるトピックは次のとおりです。

- 関連する調査結果

- 実践に関連する推奨事項
- インシデントの評価
- 戦略的介入計画
- 「耐性、回復力、回復」の連続
- 大規模グループの危機介入
- 小グループの危機介入
- 危機介入に関連する有害な結果
- リスクの軽減
- クリティカルインシデントストレスの報告 (CISD)

ICISF は、上記の 2 つのコースを組み合わせた 3 日間のコースを提供しています。これは GRIN コースと呼ばれ、上記の 2 日間のコースの代わりに受講して、トレーニング要件を満たすことができます。GRIN コースは、CIRP 要件を完了する最も一般的な方法です。

注：PSV は、個別のピア介入を行うために、個別の危機介入とピアサポートをカバーするコースを講じている必要があります。同様に、PSV は、グループの介入を行うために、グループ危機の介入をカバーするコースを講じている必要があります。ICISF CIRP コースが MA の外で修了した場合、MA CIRP の議長/コーディネーターがピアと MA の手順のレビューを行う必要があります。

### リカレントトレーニング

すべての PSV が毎年リカレントトレーニングに参加する必要があります。PSV が繰り返しトレーニングを失効させた場合、CIRP の議長/コーディネーターの承認がない限り、そのピアは非アクティブであると見なされます。

リカレントトレーニングは以下で構成されます：

#### 1) レビュー：

- 個々の危機の介入と仲間の支援、
- グループ危機の介入、および
- 職場での死。

または

#### 2) ICISF コース

または

3) CISM またはパイロット支援に関連するトピックをカバーし、CIRP の議長/コーディネーターが受け入れるコース。

このプログラム内のトレーニングは、ICISF または ICISF が承認したインストラクターが教えるプログラムに従う必要があります。例外は、CIRP グループの議長/コーディネーターが承認したコースです。

### メンタルヘルス専門家 (MHP)

メンタルヘルスの専門家は、心理学者、精神科医、認可または登録されたセラピスト、または ICISF または CIRP 承認のコーストレーナーが提供する重大なインシ

デントストレスの報告プロセスで訓練を受けたソーシャルワーカーです。証明書は常にこのトレーニングの証明として提供されます。MHP からこの証明を要求することを躊躇しないでください。悲嘆のカウンセリング、危機的介入、急性ストレス障害、心的外傷後ストレス障害、および一般的なストレス管理手法に関する追加の経験も重要です。MHP は、CIRP グループの議長/コーディネーターまたは CIRP の議長の要求に応じて、オンコールでサービスを提供します。

以下がメンタルヘルス専門家の参加のため最低限の資格です。

1. デフューズとデブリーフィングの場合、MHP は CIRP 承認の CISM トレーニングを完了する必要があります。
2. 心理学、ソーシャルワーク、精神科看護、司牧カウンセリング、またはメンタルヘルスカウンセリングの少なくとも修士号。
3. 心理的または精神医学的サービス、危機介入サービス、社会的サービス、精神科看護、司牧カウンセリング、またはその他のカウンセリングサービスにおける現在の雇用。

次の分野では、専門的かつ定期的なトレーニングをお勧めします。

1. 家族のサポートと高度な重大インシデントストレスの報告、危機介入、一般的なストレス、グループプロセス、コミュニケーションスキル、直接介入戦略、心的外傷後ストレス障害。
2. 航空の手順、運用、および作業環境に関する知識。
3. 現地および規制当局の事故調査手順に精通している。

メンタルヘルス専門家の責任には以下が含まれます：

1. 報告の支援。
2. フォローアップの専門家サポートのための紹介の提供。6 回を超える追加の会議を必要とする専門家によるサポートは、Aeromedical Advisor / クリニカルディレクター / Lead MHP を通じて調整する必要があります。
3. 報告の必要性を評価する際にピアサポートボランティアを支援する。
4. 必要に応じて、重要なインシデント対応チームのトレーニングと教育を支援します。
5. 必要に応じて、クリティカルインシデントレスポンスチームのメンバーにアドバイスを提供します。
6. 定期的なチーム会議に出席する。

以下の条件を文書で遵守するコンサルタントのみを保持することをお勧めします。

- CIRP の機密要件を遵守するため。
- CIRP グループのために実行された作業に起因または関連して生じた訴訟に対する責任を負うこと。そして
- コンサルタントがディフューズまたはデブリーフィングに参加している場合、そのコンサルタントは、支援を受ける個人がその後専門的なカウンセリングを必要とするかどうかを自己紹介することはできません。

そのような書面によるコミットメントは、管理パイロット構造とコンサルタントの間の書面によるコンサルティング契約に含まれるべきです。

## 適応

### 最初のステップ

- PSV のグループを収集します。
  - 宣伝する
  - 面接
  - 可能であれば、ピアと航空会社の管理職をトレーニングする
- 通知/通信チャンネルの方法を確立する
- 統治機関（組織構造）を確立する
- MHP を航空知識で契約する（構造を実行するためではない）
- ガイダンス、ヘルプ、および経験については、既存の IFALPA CIRP プログラムを参照してください

注：リソースが限られているメンバー協会の場合、IFALPA を通じて追加のサポートを利用できます。

### 毎日のイベントへの対応

イベント/インシデントの通知後、CIRP の議長/コーディネーターは、PSV に電話または対面でフォローアップを要求します。PSV は、CIRP の議長/コーディネーターによる特別な許可がない限り、インシデント/事故サイトに派遣したり、CIRP / CISM サービスを提供したりしません。このフォローアップでは、PSV の CIRP トレーニングで説明されている 3 ステップのプロセスを使用します。

### 大事故への対応

CIRP の議長/コーディネーターは、対応が事故またはインシデントの性質と重大度に適合することを保証します。CIRP / CISM サービスは、すべての主要な事故について事故調査チームに提供されます。日常のイベントへの対応と同様に、PSV は、CIRP の議長/コーディネーターによる特別な許可がない限り、インシデント/事故

現場に派遣したり、CIRP / CISM サービスを提供したりしません。

**CISM や CIRP サービスを他の航空会社に提供するために、誰もが自己派遣することは決してありません。**

1 つの PSV が事故調査チームに割り当てられます。この PSV には、事故調査官をサポートする以外の義務はありません。彼または彼女は、ピアサポートボランティアと事故調査官の両方になることはできません。現地調査中に PSV が追加のサポートの必要性を感じた場合、リクエストは MA コーディネーター/オブザーバー、事故調査委員会メンバー、MA スタッフ、CIRP コーディネーターの間で緊密に調整されます。

事故調査チームをサポートするために割り当てられた PSV メンバーは、事故調査チームに CISM サービスを提供する主な責任があります。他のすべての CISM の職務は、その主な任務と責任の副次的なものです。事故調査チームをサポートするために必要なもの以外の CISM 活動は、CIRP の議長/コーディネーターまたは彼/彼女の被指名人によって調整および承認される必要があります。

重大な事故の場合、ピアサポートボランティアをパイロットベースに割り当て、フライトの前後にパイロットが集まるエリアに配置する必要があります。そのようなエリアがない場合、MA がこの目的のために部屋を設定する必要があります。パイロットは安全でプライベートなエリアで自分の考えや感情を発散する必要があります。

ピアサポートボランティアは、生存している各乗員とその家族に割り当てられます。搭乗員が生き延びられない場合でも、ピアサポートボランティアは引き続き搭乗員の各家族に割り当てられます。重要な他のものを除外しないでください。それらに連絡し、カウンセリングのガイダンスだけでなく、MA および/または会社内の連絡担当者を提供してください。

また、ピアサポートボランティアを MA オフィスに割り当てる必要がある場合もあります。MA の役員とスタッフは、事故と彼らが実行する長時間の影響を受けます。

CVR グループにはピアサポートボランティアが必要です。CVR のレビューと文字起こしの後に、少なくとも 2 つの PSV を使用できるようにすることを強くお勧めします。

## 結論

重大なインシデントストレス管理のコンテキストでは、ストレス反応は、ストレスの多いイベントにさらされた人に発生する心理的および生理学的変化です。多くの場合、パイロットとしての私たちは自分自身のストレス反応を認識しておらず、私たちのトレーニングと経験のために私たちはそれらに対して免疫があるとさえ信じているかもしれません。CIRPは、ストレス反応を緩和し、パイロットがイベントを処理するのを助け、回復を成功に導きます。

## 議長/コーディネーター、副議長、または経験豊富な同僚に推奨される追加コース

### Advanced Group Crisis Intervention (ICISF / CIRP 承認済み同等物)

このコースで取り上げるトピックは次のとおりです。

- 関連する調査結果
- 複雑なグループ指向の危機介入の管理
- インシデント評価の性質と重要性
- 戦略的介入計画
- 包括的で統合された体系的なマルチコンポーネント CISM
- 強化されたグループプロセスの概念
- 大幅に遅延した介入
- 「複数インシデント CISD」
- 同僚の自殺または死亡
- 災害後の小グループ危機サポートセッション

この上級コースの前提条件は、グループコースと個別コースまたはその3日間の代替コースの満足のいく修了と、CIRPの議長/コーディネーターの承認です。参加する前に、最低1年の経験が推奨されます。

# 薬物乱用/依存関係の支援 (HIMS)

## ミッションステートメント

薬物乱用と依存症の影響に苦しむ人々の特定、相互支援、治療が促進されれば、航空業界はより安全になります。適切な専門家のリソースに適切な紹介が行われ、適切なフォローアップが提供される場合、パイロットはおそらく飛行に戻ります。

## 前書き

薬物乱用/依存支援プログラムの目的は、本質的に予防と改善の両方です。このプログラムは、協力的イニシアチブであり、加盟協会と雇用主が共同で管理するものでなければなりません。プログラムの基本は、予防と治療を選択するための最終的な責任はパイロットにあるという認識です。

このプログラムには予防策があり、アルコールや薬物に関して不適切な選択をしていることに気付いた個人がリソースを利用できます。

目的は、薬物使用または乱用の結果として行動または作業パフォーマンスの問題の証拠を示すパイロットの完全なリハビリテーションです。したがって、プログラムは、識別、評価、治療、仕事の再統合、およびそのような問題のフォローアップの専門的なシステムに取り組んでいます。

このセクションは、このマニュアルに含まれる次のセクションと併せて読む必要があります。

- 守秘義務と法的義務
- トレーニング
- 一般的なピアサポートプログラムポリシー

## 用語

**監督委員会:** 監督委員会は、承認された医療コンサルタント、指定された管理代表、および会員協会ピアコーディネーター。

**三者チーム:** 三者チームは、適切に訓練された医療コンサルタント、適切に訓練された運航部門担当者、および適切に訓練された協会メンバーピアサポートボランティア (PSV) で構成されます。

## 原則

- 物質依存は、否定のレベルを含む特徴的な特徴を持つ病気と見なされます。これにより、検出または宣言が困難になります。
- 薬物依存は安全に管理できます。未確認および管理されていない物質依存は、飛行の安全性に許容できないリスクをもたらします。安定した確立された回復を達成することは、望ましい安全な目標です。

- 非依存性であるが、重要な安全性に影響を与える物質使用のパターンがあり、これは評価の必要性を示す場合があります。
- ピア主導の介入は、拒否に立ち向かい、回復が成功する可能性を高める効果的な方法です。
- 物質依存からの回復の成功は、問題の受容と態度の変化、ならびに新しい行動パターンと対処メカニズムの採用にかかっています。これらの変更を確立するには、通常、長期間が必要です。
- 薬物使用の危険なパターンは、医学的、心理的、カウンセリング、およびピアサポートの方法を組み合わせたアプローチで最適に管理されます。より深刻なケースでは入院患者の在宅ケアが好まれます。これは、結果が成功し、再認証のために規制当局に受け入れられる可能性が高いためです。
- 航空要員の薬物依存の治療を成功させるには、気分を変える物質をやめる必要があります。
- 継続的な禁酒の維持は、綿密なモニタリング、頻繁なフォローアップ、集中的な同僚のサポートによって達成される可能性が高くなります。
- 依存症は再発の可能性がある状態であり、継続的なフォローアップは再発の防止および/または早期発見を目的としています。
- 物質に依存する個人のリハビリテーションの経路を適切に監視して提供することは、航空の安全性、組織の経済性、個人の健康と福祉の複合的な利益に最もよく貢献します。
- 薬物使用障害の管理の成功モデルは、規制当局、航空事業者、および従業員代表の間の協調的アプローチに依存しています。

## 適応

### 組織構成

薬物乱用/依存症支援プログラムは、監視委員会と三者チームで構成される必要があります。

### 監督委員会

この委員会は、次のことを保証します。プログラムの目的が実行されます。

- 相互に受け入れ可能な担当者が 3 者チームに任命されます。
- 医療コンサルタント、指定された管理担当者、および PSV は、初回および定期的なトレーニングプロ

- プログラムの両方に参加します。
- すべての治療は利用可能な最高水準であり、このプログラムの目的と一致しています。
  - プログラムの定期的な再評価が行われるため、欠陥を特定、評価、修正できます。
  - 必要な調整は適切な規制当局と行われます。

### 三者チーム

このチームは、次のことを保証します。

- ラインパイロットはこのプログラムと、健康維持における薬物乱用/依存防止の役割を認識しています。
- プログラムの原則と基準は、個々のケースごとに維持されます。
- 援助を必要とするパイロットは、前進する意欲があります。
- 彼らは、あらゆる介入、フォローアップ、または3者間モニタリングプログラムで積極的な役割を果たす。

### 規制当局による承認

このプログラムの運用は、パイロットライセンスと民間航空医学を担当する規制機関の承認を得て行われます。パイロットは、必要に応じて、適切な自発的な開示がこれらの当局に行われ、パイロットの迅速な再ライセンスと仕事への復帰が可能になります。プログラムの使命は、必要に応じて、再免許プロセス全体を通じて個々のパイロットを擁護することです。

### 懲戒処分について

このプログラムを通じて取得した情報は、懲戒処分のサポートに使用しないでください。ただし、経営陣がインシデントについて独立した知識を持ち、懲戒処分を求める場合があります。このプログラムは、経営者の適切な懲戒手続きへの権利を制限しようとするものでも、団体協約プロセスにアクセスする個人の権利を制限するものでもありません。

懲戒事項に関連する調査には、必要に応じて、完全な医学的、心理的、および社会的評価を含める必要があります。行動やパフォーマンスに影響を与えたと特定された健康上の問題を考慮する必要があります。

### 費用負担

個々の参加者に対する財政的支援は、可能であれば、適切なパイロット障害/福利厚生計画または会社の医療給付に従って管理されるべきです。

会員団体は、相互に合意した治療センターでの初期リハビリ治療の費用を負担するために、雇用主との合意を確立するよう努めるべきです。これには、会社の承認を受けた医師による医療紹介、および化学物質依存に関する相互に合意した薬物乱用専門家による評価が含まれます。

各オペレーターおよび会員協会の状況によっては、個々のパイロットが特定のアフターケアリハビリ費用を負担する場合があります。

### トレーニングの要件と資格

個人のライフスタイルの問題がパイロットの健康、行動、または仕事のパフォーマンスに悪影響を与える場合、リハビリの成功を確実にするために、次のプロセスを使用する必要があります。

#### 1) 識別

個々のパイロットは、キャリアに影響を与える個人的な問題の最良の裁判官かもしれません。プログラムは、これらの問題の自発的な特定、および評価目的の自己紹介（注：これは自己診断を意味しない）を奨励する必要があります。他の通常の識別方法は、医師、監督者または同僚、および家族によるものです。

#### 2) 紹介と評価

各ケースは、適切な専門家のリソースによって、可能な治療について評価されるべきです。評価のために紹介されるには、パイロットは協会/雇用者が同意した医師または適切な医療コンサルタントによって紹介される必要があります。

#### 3) 介入

##### a) 非公式の介入またはレベル 1

これは、個人からの、または個人からの懸念に応じて与えられた、個人との単なる説明会です。適切に訓練されたどのピアもこの介入を行うことができ、関係する当事者に影響はありません。一般的な教育と意識が中心的な問題であり、関係者への「前兆」として機能します。遺伝的要因、健康リスク、法的、およびライセンスの影響は、提供される知識の一部である必要があります。

##### b) 正式なピア介入またはレベル 2

このフェーズには、三者チームの調整と同意、およびプログラム委員会の承認が含まれます。これは、チームがパイロットの行動、パフォーマンス、または健康に関する情報を確認した後で作成されます。開発の問題があるとチームが結論付けた場合、介入は2人のメンバーによって計画され、実行されます。

レベル2の介入は正式な介入であり、薬物乱用に関して生じた懸念を伝えます。個人は、自分の選択と努力を通じて、行動を変更したり、評価を求めたりすることが期待されています。彼らの行動は現在、三者チームによる議論の対象であり、彼らの行動と作業パフォーマンスはチームによって監視されることが正式に通知されます

#### c) 正式な三者チームの介入またはレベル3

このレベルでは、プロセスはプログラムの委員会によって調整され、治療を必要とするパイロットに対する密接なサポートが確保されます。三者チームは、パイロットが適切な評価のために任務から外されることを保証するのに十分な情報があることが確認された後、実際の介入を実行します。独立した評価の結果によって、次の一連のイベントが決まります。

#### 4) 治療

相互に受け入れ可能なリソースセンターのみを治療に使用する必要があります。彼らの方法は適切な専門的基準を維持しなければならない。

#### 5) 仕事の再統合

職場への再統合は、リハビリプロセスの重要なフェーズです。場合によっては、パイロットは医療再認証を受ける必要があります。再トレーニングプログラムを開始する前に、Tripartite チームメンバーはジョブの再統合の調整を支援します。再訓練プログラムは、パイロットが持つ可能性のあるあらゆるニーズや障害を考慮に入れるべきです。

#### 6) フォローアップ

適切なフォローアップ手順は、治療の成功に不可欠です。三者チームは、居住地での治療後にパイロットと面会し、正式な三者合意に署名する必要があります。

これは、三者プロセスに参加する人々の期待を概説する文書です。これらの契約のサンプルは付録にあります。

Tripartite Team のメンバーは、パイロットがライン勤務に戻る前に連絡して、リハビリプロセスを確実に完了させる必要があります。

注：薬物乱用のケースは、職場復帰後2年以上監視する必要があります。毎月の会議は、パイロットとその三者チームの間でスケジュールする必要があります。これらの会議は、治療のフォローアッププログラムに追加されるものであり、Tripartite チームまたはパイロットの要求に応じて頻度を増やすことができます。

## 結論

薬物依存プログラムは、依存症の問題と診断された個人のリハビリテーションを促進して、個人的領域と職業的領域の両方でバランスと生活の質を回復することを目的としています。このプログラムを正常に完了したパイロットは、キャリアを継続し、健康でよく調整された生活を送ることができます。

## ケア契約後の例

個人的な領域と専門的な領域の両方でバランスと生活の質。このプログラムを正常に完了したパイロットは、キャリアを継続し、健康でよく調整された生活を送ることができます。

この例はALPA-Iによって提供されており、カナダ固有の用語が含まれています。この例を使用する会員団体は、自国の状況を反映するようにそれを改訂することを検討する必要があります。

## キャプテン XYZ のアフターケア契約

- 1) ケア契約後に参加しないことを選択した場合、私の決定が規制当局に通知されることを理解しています。責任は、再認可のための私の健康状態の規制当局を満足させることです。
- 2) 私は、ケア契約後にこれに従うことに同意し、条件を順守しない場合、障害給付の資格を失う可能性があり、私の雇用が影響を受ける可能性があることを理解します
- 3) この監視プログラムの変更は、Tripartite チームのすべてのメンバーの明示的な許可と同意がある場合にのみ行うことができます
- 4) ケア契約後のこの期間中、私はアルコールや他の気分を変える薬の使用を完全に控えます。処方薬または非処方薬を服用しなければならない場合は、処方されている医師に化学依存症の治療を受けていることを伝えます。私も同じように三者チームの医師に助言します。
- 5) 治療施設の推奨に従います。これには、その施設のアフターケアプログラムが含まれます。
- 6) 監視チームの裁量により、必要に応じて定期的な薬物検査またはアルコール検査を実施できるようにします。
- 7) 毎月またはスケジュールされた Tripartite チームミーティングで使用できるようにスケジュールを調整します。
- 8) 定期的な 3 者チームのミーティングに加えて、私は要求に応じて、電話または 3 者チームのメンバーと直接面会する予定です。
- 9) 飲酒の最初の 90 日間で、合計 90 回のアルコール依存症 (AA) ミーティングに出席します。(または、Tripartite チームが同意した同等のサポートプログラム。)
- 10) 最初の 90 日間のサポートプログラム後、週に 3 回以上の会議に出席します。私の飛行スケジュールのためにこれが実用的でなくなった場合、監視チームは毎月最低 12 回のサポート会議を承認する場合があります。
- 11) Birds of a Feather AA ミーティングが利用可能な場合、上記の毎週のミーティングスケジュールの一部としてこのミーティングに参加します。
- 12) 出席した AA /サポート会議の記録を保管します。監視チームから要請があった場合は、会議ごとに議長または秘書から署名を取得します。
- 13) 飲酒の最初の 90 日以内に、AA /サポートホームグループに参加します
- 14) 飲酒の最初の 90 日以内に、AA /サポートスポンサーを取得します。私のスポンサーは私のホームグループのメンバーになります。私の監視委員会の事前承認があれば、私の特定のスポンサーは私のホームグループのメンバーである必要はありません。私のスポンサーがモニタリングチームと連絡を取り、AA プログラムへの参加を確認するよう手配します。
- 15) 規制当局によって義務付けられている監視期間が終了したら、私は、私のキャリアの期間中、アルコールや他の気分を変える薬の使用を完全に控えることに同意します。

私はこのアフターケア契約の条件に同意します。

署名.....

注：規律が関係する場合は、アフターケア契約の第 2 項に次の単語を挿入する必要があります。「私は障害補償の対象とならない場合があります。私は、正当な理由がある場合、解雇までの懲戒処分の対象となります。」



# パイロットトレーニングアシスタンス

## ミッションステートメント

パイロットは、非常に経験豊富で、高価で、熟練したリソースです。

トレーニングアシスタンスプログラムでは、パイロットのパフォーマンスを個別に調査し、資格の確立や維持が困難なパイロットや、通常のトレーニングシラバス内での進行が困難なパイロットを支援します。目的は、サポートを提供し、通常のトレーニングのシラバスへの再統合を促進し、最終的に進行中または慢性のパフォーマンスの不足を解消することです。

## 前書き

すべてのパイロットが同じ速度または同じ学習技術で学習するわけではなく、同じトレーニングプログラムに参加するパイロットの経験レベルと背景に差異がある可能性があることが認識されています。

合理的な進歩があり、成功の可能性があるとは確信している場合は、初期、反復、および再資格トレーニングのすべてのフェーズで、トレーニングを計画トレーニング期間またはトレーニング時間を超えて調整または延長できるようにするプログラムを用意する必要があります。

すべてのパイロットは、訓練と飛行チェックに成功する意欲があります。トレーニングやフライトチェックの失敗は、個々のパイロットにとって非常にストレスがかかり、オペレーターがスケジュールを立てて修復トレーニングを実施しなければならないため、コストが高くなる可能性があります。修復トレーニングは、失敗の根本的な原因への対処に注意を払わないと、リソースの浪費になることがあります。

このプログラムは、トレーニングが特定のパイロットのパフォーマンスのプレッシャーにさらし、キャリアパスに有害な影響を与える可能性があることを認識しています。この支援手段は、次の問題に対処するために存在します。

- 1) パイロットが必要なパフォーマンス基準を達成するのに困難を感じている。または、
- 2) パイロットが必要な進歩を遂げていない。または、
- 3) パイロットがフライトチェック中に確立されたパフォーマンス基準を満たしていません。

トレーニングで困難に直面したときの課題のいくつかは、スキルの不足ではなく外部の問題に関連していま

す。トレーニングの難しさは、パイロットの専門家の評判に影響を与える恥、自信の欠如、パフォーマンス不安などの心理的影響を与える可能性があります。

通常、トレーニングアシスタンスプログラムには2つのエントリトリガーがあります。

### 1) トレーニング部門の紹介を通じて

- 事後対応：たとえば、フライトチェックの失敗、または通常のトレーニングシラバスで進行できない。プログラムは標準化されたトリガーポイントを確立する必要があります。その後、トレーニングアシスタンスプログラムへの紹介が必須になります。
- たとえば、インストラクターまたは試験官が、トレーニングプログラム内で正常に進行する個人の能力に懸念を生じたときはいつでも。

### 2) 自己申告

- 個々のパイロットが、正常に進行する能力に影響を受ける可能性があるとは懸念していると感じたときはいつでも、トレーニングアシスタンスプログラムに連絡することができます。

このセクションは、このマニュアルに含まれる次のセクションと併せて読む必要があります。

- 守秘義務と法的義務
- トレーニング
- 一般的なピアサポートプログラムポリシー

## パイロットトレーニングアシスタンスとは何か？

このプログラムは、訓練を受けているパイロットの経

験レベル、学習スタイル、および個人的な状況に違いがあることを認識しています。パイロットが標準のトレーニングプログラムを正常に完了できない場合があります。トレーニングの難しさや標準以下のトレーニングのパフォーマンスは、プロのパイロットにとって大きなストレスの原因となる可能性があります。ピアサポートの提供者がパイロットの実際の状況についての洞察を得ることが重要です。これは、適切なサポートが提供されることを保証するためであり、適切な場合、適切な修復トレーニング計画が作成されます。

## 方針

トレーニングアシスタンスプログラムに参加しているすべてのメンバーは、パイロットトレーニングの幅広い経験を持っている必要があります。

メンバーは、指示とチェック、ヒューマンファクター、カリキュラム開発、パイロットアシスタンスなどの複数の分野での経験から選ばれます。

トレーニング支援プログラムは、パイロットが根本的な原因を特定し、個人に悪影響を及ぼし、彼らの専門能力に影響を与えている問題を解決するのを支援する熟練した機密ピアサポートを提供します。

## 原則

トレーニングの難しさに対するパイロット中心のアプローチを開発します。このアプローチの目標は、パイロットがトレーニング、チェック、およびライン操作で最終的に成功することを確認することを試みることです。

これは、パイロットアソシエーション、オペレーター、および個々のパイロットがすべて関与する非懲罰的かつ協力的な方法で達成するのが最善です。

これらの問題に対処するための正式なプログラムは、次の条件を満たす必要があります。

- 非規律的であること。
- 客観的になる。
- 状況または特有の状況が個人のパフォーマンスに影響を与える可能性があることを認める。

- このプログラムの範囲を超えた組織の問題が存在し、彼らのトレーニングに影響を与えている可能性があります。
- パイロットが訓練を進める能力に影響を及ぼしている可能性のある問題について公然と話し合うための手段となる。
- 開放性と誠実さが重要であることを認識し、このプロセスの成功にはパイロットの参加が必要です。

## 適用

効果的なパイロットトレーニングアシスタンスプログラムは、パイロット協会とオペレーターのトレーニング部門の両方によって任命されたメンバーで構成されています。このプロセスは、非専門的な方法で実施する必要があります。

典型的なケースは、以下のリストと同様の手順に従います。

- オペレーターは、訓練が困難なパイロットを訓練支援プログラムに通知します。
- プログラムのメンバーはパイロットに連絡して、パイロットがトレーニングの必要性を特定し、言葉で伝えるのをサポートします。
- 事前に設定された、または事前に設定された「目標」が満たされ、正式な会議が必要な場合、トレーニング支援プログラムで会議がスケジュールされます。
- トレーニングを変更するための推奨事項を含むレポートを、トレーニング支援プログラムから会社に提供する必要があります。
- さらにトレーニング上の問題が発生した場合は、ケースをトレーニング支援プログラムにご紹介ください。

## 結論

正式なパイロットトレーニングアシスタンスプログラムを提供することにより、メンバー協会は、トレーニングの進行が脅かされていると思われる場合に発生する不確実性に対処するメンバーの体験を向上させることができます。

## 専門規格 (PRO STANS)

### ミッションステートメント

プロフェッショナルスタンダードプログラムの基本的な哲学は、合意された倫理規定で定義されているように、規制当局と航空会社の管理者が設定した基準を超えるプロフェッショナル基準を設定および維持することは航空会社のパイロットの責任であるということです。この責任感と義務感が、私たちが選んだ職業を際立たせ、高揚させます。

Professional Standards の使命は、プロのパイロットのキャリアを保護および強化することです。 Professional Standards は主に、職場でのパイロット行動を扱い、安全で専門的な操作環境を確保します。

### 倫理綱領

倫理規定は、職業によって設定された基準を定義します。これは、会員協会によって定義された生きた文書です。倫理規定は、プロフェッショナルスタンダードプログラムで使用される標準であり、プロフェッショナルスタンダード委員会のすべての機能のバックボーンとして機能します。倫理規定のサンプルは、このセクションの付録 A に含まれています。

PRO STANS 委員会は倫理規定の「管理人」です。

規範で概説されている「職業倫理」は、私たちの専門パイロット集団内の主要な道德規範になります。この倫理は、企業に対する義務感ではなく、パイロットに対する職業に対する義務感に根ざしているのが最善です。企業、所有者、経営陣は、パイロットのキャリアの中で出入りします。職業とその職務は残っています。企業に対する義務ではなく、職業に対する義務に基づいてパイロットの行動を行うことで、いつでも企業の雰囲気に関係なく、最高水準を維持できます。

### 前書き

専門基準委員会は、パイロットの間で最も高度な専門的行動を促進および維持します。プロフェッショナルスタンダードプログラムが成功すると、私たちの主な関心事であり責任である、日常の飛行業務における安全域が拡大します。また、職業の地位を保護および強化します。

個々のパイロットボランティアは、Professional Standards 委員会を構成し、パイロットが専門的または倫理的性質の問題に直面するためのフォーラムを提供します。ピアボランティアは、厳格な機密保持の下でこれらの問題を処理します。

このセクションは、このマニュアルに含まれる次のセクションと併せて読む必要があります。

- 守秘義務と法的義務
- トレーニング
- 一般的なピアサポートプログラムポリシー
- 

### プロフェッショナルスタンダードとは何か？

専門基準委員会：

1. パイロットを含む専門的または倫理的性質の問題に対処します。
2. フライトデッキの安全性やプロ意識に影響を与えるパイロットの不正行為の事例を解決します。
3. フライトデッキの安全性やプロ意識に影響を与える可能性のあるパイロット間の対立を解決します。
4. パイロットと、別の従業員グループのメンバーまたは別の個人との間の、フライトデッキの安全性や専門性に影響を与える可能性のある衝突を解決します。
5. 職業に不利に反映していると見なされる行為から生じる対立を解決します。ただし、Professional Standards Committee は、パイロットグループ内または労働組合内の政治的性質の紛争についてはいかなる措置も講じません。
6. パイロットグループとの定期的なコミュニケーションを通じて、最高水準の職業上の行動を促進します。

## 方針

専門基準委員会は「パイロット道徳」または「制服警察」委員会ではないことを強調しなければなりません。それをしようとすると、パイロットが安全かつ専門的な戦いを行うのを助けるという本当の目的が損なわれます。統一された規制やポリシーの施行は、厳密には管理の機能です。統一されたコンプライアンスの苦情がどこで発生したかに関係なく、Professional Standards はこのようなケースを処理するべきではありません。

Professional Standards Committee によって処理される状況の例には、次のものがあります。

- コックピット管理スタイル (CRM)
- 人格の衝突
- 標準の操作手順に従わない
- 乗務員の調整に関する問題
- セクハラ (ガイドライン内)

Professional Standards で処理されない状況の例は次のとおりです。

- 局の実施/違反のケース
- 苦情の問題
- 薬物乱用の問題
- 医療関連の問題
- 法的な問題
- 熟練状況

## 原則

すべての専門基準委員会の主要なコンポーネントは、中立性、機密性、および記録なしの概念です。3つのコンセプトはすべて、Professional Standards Committee に必須です。これらの重要な概念のいずれかが厳格に従わず、遵守されていない場合、専門基準委員会は従業員グループに対する信頼を失い、最終的には崩壊します。

### 1. 中立

状況に応じて専門基準委員会に支援を求めた場合、事件を処理するボランティアが非判断的、非難的、非対立的な方法でそうすることが重要です。プロフェッショナルスタンダードボランティアとして、私たちは個人の罪悪感や無罪に関して判断を下さないことに注意することが重要です。代わりに、関係者が相互に合意できる解決策にたどり着けるように、関係者から与えられた説明に基づいて、各状況で何が起こったかを判断しようとします。すべての関係者が、プロフェッショナルスタンダードの仕事における中立性の役割と、プロフェッショナルスタンダードのボランティアがいかなる場合でも脇役にならないという事実を認識しておくことが重要です。

Professional Standards のボランティアは、提示された一連の事実に対して常に中立であり、個人的な判断や選好が事件の処理を妨害しないようにする必要があります。さらに、過去のプロフェッショナル標準の関与に基づいた個人に対する個人的な感情は、それぞれのケースがそのケースのメリットだけで処理できるように、脇に置いておく必要があります。

### 2. 守秘義務の範囲

Professional Standards Committee の2番目の主要コンポーネントは機密性です。委員会のボランティアにアプローチするパイロットは、彼らの苦情や問題が機密のままであることが保証されていることが重要です。パイロットは、この機密性の保証がなければ、専門基準委員会にアプローチしません。厳格な機密保持を維持することは、プロフェッショナルスタンダードプロセスの承認と参加を促進します。

専門基準委員会に支援を求めて連絡がとられた場合、その手続きは、個人に最も厳格な機密で行われることを保証することにより、「機密」にすることです。関係者にも、この機密性を守るようお願いします。委員会のボランティアは、関係するすべての関係者から機密性の保証を取得することをお勧めします。関係者がクルーラウンジの状況について話し合うよりも早く、状況を解決するための委員会の取り組みを妨げるものではありません。委員会のメンバーと関係者がこのプロセスに同意したら、知る必要のあるルールを適用する必要があります。つまり、ケースについて他の委員会メンバーを含めて、彼らが知る必要がある場合を除いて、このケースについて話し合ってはなりません。状況。

専門基準委員会に潜在的なケースを報告する個人の名前を秘密にしておくことは、専門基準委員会の意図です。匿名性は紛争解決の成功に向けた専門基準のアプローチの範囲外であるため、当事者は紛争の解決に積極的に参加する必要があります。矛盾は、報告する個人と他の当事者の間であり、専門的基準と2つの当事者の間ではありません。Professional Standards Committee は、ケースがMAのポリシーに従って処理されていることを確認者に通知することができます。ただし、解決のために記者と他の当事者を一緒にする必要のある場合を除いて、他の詳細やアクションは通常明らかにすべきではありません。

委員会は、目立たず、パイロットに専門基準活動の範囲内で言われることは秘密にされることを保証できる人で構成されなければなりません。

委員会は、経営者自身以外の情報源によって私たちの注意が向けられる専門基準の事例について経営者に

通知しないことに注意してください。経営陣が専門基準に持ち込んだ場合、事件が処理された後に経営陣に提供される唯一の対応は、「事件は十分に解決されました」または「この問題を解決できませんでした」です。このポリシーには、「紛争」タイプのケースだけでなく、「飛行安全」のケースも含まれます。

パイロットやその他の従業員が飛行の安全性に差し迫った脅威であることを何らかの証拠が示唆している場合、そのケースに関与する専門基準委員会のメンバーは、できるだけ早く専門基準委員会の委員長に連絡する必要があります。その後、Professional Standards Committee の議長は MA の議長に相談する必要があります。MA Legal や Aeromedical グループなどの追加リソースも利用できます。MA 会長は、必要に応じて法務および医療アドバイザーと調整した後、飛行の安全性を確保するために適切な措置をとります。フライトの安全性に関する潜在的な問題に MA の議長を巻き込むことは、機密性の違反とは見なされません。

### 3.記録

すべての Professional Standards Committee の 3 番目で最後の主要コンポーネントは、すべての Professional Standards 活動の記録を保持することの禁止です。

パイロットの機密性を確保するために、専門基準は委員会の活動の記録を作成または維持することは許可されていません。専門基準委員会のボランティア、特に専門基準委員会の経験が限られているボランティアは、ケース受領チェックリストを利用することをお勧めします。このフォームは、ケースがクリアされた次第、最初の使用から 90 日以内に破棄されます。特定の場合に、プロフェッショナルスタンダードが、関係者との書面による連絡（たとえば、関係者への手紙の書き込み）を維持したい他のエンティティ（たとえば、別の MA 共有オフィススペース）とやり取りする場合、プロフェッショナルスタンダードは参加してはなりません。その場合。

専門基準委員会の作業の機密性を確保するために、ボランティアは自分の記憶にのみ頼り、自分が扱った専門基準の状況に関するメモや記録を残さないように指示されています。特に訴訟活動の記録が存在しない場合は、特定の訴訟の事実を記憶だけに頼って法的手続きで取り戻すことは困難です。

**警告：** E-Mail を使用して、Professional Standards Committee の業務を行うことはできません。電子メールが削除された後も、削除された電子メールでさえ検索できる技術が存在し、その電子文書は召喚状の対象となる可能性のある書面の記録を構成します。

Professional Standards のケースに関する詳細を電子メールで送信しないでください。カウンセルしようとしているパイロットとのケースについて話し合うために電子メールを決して使用しないでください。また、他の専門基準委員会のボランティアとケースについて話し合うために電子メールを使用しないでください。プロフェッショナルスタンダードボランティアとして、パイロットと話す必要があることを他のパイロットに警告するために電子メールを使用しないでください。パイロットとの最初の連絡に利用できる唯一の連絡先が電子メールである場合は、電子メールができるだけ曖昧であることを確認してください。たとえば、「カール、できるだけ早く電話してください。ビル。"パイロットがプロフェッショナル標準の支援を求める電子メールで連絡した場合は、電子メールから連絡先の電話番号のみを取得して、メッセージを削除します。電話で送信者に連絡したら、連絡先番号を取得する以外は電子メールを読んでいないことを伝えます。機密性の制約により、電子メールによるプロフェッショナルスタンダードビジネスの実施は許可されないことを送信者に必ず通知してください。

**警告：** プロフェッショナルスタンダード委員会のメンバーは、インターネットフォーラム、チャットルーム、またはあらゆる形式のソーシャルメディアでケーススタンダードやプロフェッショナルスタンダードのその他の側面について話し合ったり、擁護したりしてはなりません。航空会社のパイロットとしての私たちの職業は、中傷的なコメント、半真実、非難のコメントによって傷つけられていることが指摘されています。これらのネットワークに参加しないでください。委員会としての信頼性を低下させる議論に巻き込まれ、ケースワーク情報を漏らしたり、Professional Standards 委員としての偏見のない立場にあなたを置いたりする可能性があります。

**覚えておいてください。** 電子メールまたはフォーラムを介してコンピューターであなたの手で述べられたことは、あなた、あなたの事件、あなたの委員会およびあなたの会員協会に対して使用することができます。

### 適用

Professional Standards の議長はマネージャーと見なされるべきです。セクシャルハラスメントの状況を除いて、会長は通常、個々の事件に対処するのではなく、特定のイベントに適切に対処するよう委員会のボランティアに指示および監督します。

委員長と運航部門長との定期的な対話、および他の航空部門の監督部門（たとえば、客室乗務員部門の上級管理者）との会話は、委員会の推進に不思議なことをします。プロフェッショナルスタンダードの議長

は、ベースのチーフパイロットや他の従業員グループの地元の上司と定期的に対話することにより、個々の拠点でプロフェッショナルスタンダードを推進する必要があります。プロフェッショナルスタンダードの議長が MA ミーティングに出席し、プロフェッショナルスタンダードの役割について短いプレゼンテーションを行う必要があります。

予算編成は、専門基準委員長のもう 1 つの責任です。通常、2 つの主要な費用は、コミュニケーションとトレーニングです。

理想的には、すべての委員会メンバーが毎年のトレーニングセミナーに送られます。

コミュニケーションは重要であり、Professional Standards 委員長の継続的な責任です。数日、場合によっては数週間、専門基準の活動が行われない場合があります。委員会内コミュニケーションが発生しない場合、メンバーは委員会とパイロットグループへのサービスが必要ない、または重要ではないと感じるかもしれません。したがって、たとえ業務が遅いことを伝えるだけであっても、Professional Standards の委員長がボランティアと定期的に連絡を取り合うことが重要です。

パイロットグループとのコミュニケーションも重要です。パイロットグループと直接通信するか、委員会のメンバーにこの責任を指定することは、専門基準委員長の責任です。そのようなコミュニケーションは、通常、MA の出版物のための書面による記事の形式です。また、専門基準委員長は、パイロットグループが専門基準委員会に連絡する適切な手段を持ち、すべての着信通信が迅速に処理されるようにする必要があります。

Professional Standards Committee は、パイロットグループの告白です。プロフェッショナルスタンダードボランティアは、ありふれたものから完全に奇妙なものまで、何でも聞くことができるため、状況に関係なく、裁量と機密性を維持する能力を持つボランティアを選ぶ必要があります。成熟度、タクト、標準的な運用手順への厳格な遵守に定評のあるパイロットは、優れたプロフェッショナルスタンダードボランティアになる傾向があります。

ケースを処理するときは、関係するすべての関係者と話し合ってください。客観的、個別的、徹底的、中立的、そして何よりも**機密情報であること**。事件の一部について他の当事者と話し合う前に、関係するすべての当事者に機密性の保証を求めるようにしてください。すべての当事者の権利と尊厳を尊重します。個人に対する配慮と飛行の安全性とプロフェッショナルリズムに対する配慮の姿勢で当事者にアプローチします。多くの場合、経営者や規制当局は、**会員協会から独立した行動**についての知識を得る。管理者が MA に注意を喚起した場合、MA は、問題が正常に解決されたかどうかについてのみ管理者に通知する必要があります。事件について経営陣にこれ以上明らかにすべきではない。

経営陣自身以外のソースから委員会の注意を引いた専門基準の事例について経営陣に知らせないでください。議長は、この規則に例外を設ける権限を持つ唯一の人物です。これには、「飛行安全」のケースが含まれます。疑問がある場合は、委員会のメンバーは専門基準委員会の委員長に連絡する必要があります。彼/彼女は MA 議長と調整します。

## 結論

プロのパイロットとして、私たちは全員、クルーリソースを使用することの重要性を理解しています

問題をオープンかつ直接的に議論するための管理スキル。飛行の安全性が関係する場合は、ためらうことはありません。私たちの個人的な CRM ツールが失敗し、性格が衝突するまれな例では、将来的にその人の周りに入札し、状況を無視してそれを失敗させるか、または悲惨な場合は問題を管理者に任せるかもしれません。4 番目の選択肢があります-ピア競合解決です。これがプロフェッショナルスタンダードの役割です。

## 倫理規定の例

以下は、ALPA-I (米国 ALPA) によって提供される倫理綱領の例文であり、ALPA 特有の内容が含まれています。他の加盟協会は独自の倫理規定を持っている必要があります。この例を使用する場合、加盟協会は、自国の状況を反映するようにそれを改訂することを検討する必要があります。

### 倫理綱領序文

この規範の理念は、性別に関係なくすべてのメンバーに適用されるものとします。

- 1) 航空会社のパイロットは、命を委ねる乗客に対して安全、快適で幸福を提供することが第一であり最大の責任であることを、まず最初に頭に思い浮かべましょう。
  - a) 彼は自分の判断に影響を与えるような外部からの圧力や個人的な欲求を決して許可しません。また、フライトの安全を脅かす可能性があることを故意に行うこともありません。
  - b) 彼は、怠慢の行為が故意の委任行為と同じくらい危険である可能性があることを覚えており、彼の飛行の安全に寄与する詳細を無視したり、過失または不注意な方法で操作を実行したりしません。
  - c) 飛行の安全性と一貫して、彼は常に彼と彼が代表する航空会社への信頼を植え付け、乗客の快適さ、安心、そして幸福に貢献する方法で彼の航空機を操作します。
  - d) 乗客の安全と快適さに対する主な責任を果たすと、予定された時間に目的地に配達するためにあらゆる手段を尽くすことを頼りにしていることを覚えています。
  - e) 災害が発生した場合、同乗者と乗員の生命を保護するために必要と思われる行動を取ります。
- 2) 航空会社のパイロットは、彼を雇用し、その給与が彼の生活様式を可能にする航空会社に負う義務を忠実に履行します。
  - a) 彼は、損傷や不必要なメンテナンスを引き起こさない方法で、航空機を効率的かつ予定通りに操作するために、すべての力を尽くします。
  - b) 彼は監督者によって与えられたすべての合法的な指示に忠実に従いますが、彼の考慮された判断において合法ではない、または飛行の安全に悪影響を与える指示に抵抗し、必要に応じて拒否します。最終的な分析では、飛行を安全に完了する責任は肩にかかっていることを彼は覚えています。
  - c) 彼は故意にログや記録を改ざんしたり、他の乗員によるそのような行為を容認したりしません。
  - d) 彼は、1か月の給与が1か月分の公正な仕事を要求することを覚えています。休暇中は、効率を低下させたり、職業に信用を失ったりするような職業や活動に従事することはありません。
  - e) 彼は、彼に会ったすべての人に航空会社を代表し、常に彼の個人的な外見と行動を非難する以上に保つことを理解します。
  - f) 彼は彼の航空会社、その役員、取締役、監督者に彼らの当然の忠誠心を与え、彼らの悪口を言うのを控えるでしょう。安全な運用と調和のとれた関係につながらない状況を明らかにして修正する必要があると感じた場合、彼は批判を ALPA 内の適切な当局に向けます。
  - g) 彼は航空会社のビジネス上の秘密を秘密に保持し、それらが不適切に開示されないように注意します。

- 3) 航空会社のパイロットは、指揮権の行使と同時に責任を受け入れ、パイロットという職業名の下に、乗務員や同僚の従業員、および同僚に対する信頼と尊敬を勤務時だけでなく勤務外でも常に意識して行動します。
- a) 搭乗員の各メンバーの義務を理解します。指揮下にある場合、彼はしっかりしているが、フライトの安全で秩序だった完了に影響を及ぼさない逸脱に対して寛容であるが、明白である。彼は効率的でありながらリラックスしているので、乗組員の任務は調和のとれた方法で行われるかもしれません。
  - b) 指揮下にある場合、彼は各乗務員の職務の効率的な遂行を期待しますが、小さな差異を無視し、不必要かつ破壊的な批判を控えるため、乗務員は自尊心と協力的な態度を維持します。飛行後のテクニックとパフォーマンスの軽微な問題についての率直な議論は、善意と助けとなる欲求を生み出しますが、現時点での鋭い批判と常習命令は、士気の低下と非効率的な将来の職務遂行を停止させるだけです。
  - c) 航空会社のパイロットは、彼が通常の運用中に訓練に大きく依存している職業であることを覚えており、指揮下にある場合、安全と効率性を維持しながら、飛行乗務員にあらゆる合理的な機会を提供し、学び、練習することができます。彼は乗組員に誇りと責任感を植え付けるよう努めます。彼の乗組員の仕事と行動に関する報告を作成する際に、彼は個人的な偏見を避け、彼の報告を事実と批判的に建設的にするので、彼の報告の結果として取られる行動は、彼の乗組員の知識とスキルではなく、信用を失い、生計を脅かし、職業での地位を脅かします。
  - d) 航空管制官は、指揮下にある間、搭乗員の福祉に留意します。彼は、特に異常な動作条件の間、彼の乗組員が適切に宿泊され、世話されることを理解します。キャンセルによりデッドヘディングが発生した場合、彼は自分の面倒を見る前に、乗組員の輸送のための適切な手配が行われていることを確認します。
- 4) 航空会社のパイロットは、他の職業のメンバーや ALPA との関係を、職業や ALPA だけでなく自分自身にも認められるように行います。
- a) 彼は別のパイロットの専門家の評判、見通し、または仕事の安全を誤ってまたは故意に傷つけませんが、専門家としての能力がないことを知っていたり、職業や ALPA に不利益を及ぼす場合は、これを適切な当局に明らかにすることから縮小しません。ALPA 内で、弱いメンバーが要求された基準に引き上げられるように、または ALPA と職業が同様に、報酬を共有する価値のない人を 1 人取り除くことができます。
  - b) 彼は、ALPA の憲法と付則に定められた規則、およびそこから公布されたポリシーと解釈に従って、ALPA およびそのメンバーとの関係を遂行します。可能な限り、彼は開かれている ALPA のすべての会議に出席し、その活動や、空気の安全性と職業の地位を向上させるために計算された他のグループの会議に積極的に参加します。
  - c) 航空会社のパイロットは、個人的な利益または利益のために、仲間のメンバーによって彼に与えられた信頼を利用するいかなる行動も控えるものとします。彼が紛争で ALPA を代表するように求められた場合、彼は彼を保護するために ALPA の影響力と力に依存して、公平かつ恐れずに彼の能力の及ぶ限りではそうします。
  - d) 彼は自分を職業と ALPA の債務者で見なし、その進歩に専念します。彼は仲間のパイロットと情報や経験を交換し、専門家グループやテクニカルプレスの活動に積極的に貢献することで、職業の維持に協力します。
- 5) 航空会社のパイロットにとって、彼の職業の名誉は貴重であり、彼自身の性格と行動はその職業に対する名誉または不名誉を反映していることを覚えています。
- a) 彼は彼の国、州、コミュニティの良き市民であり、彼らの業務、特に航空施設の改善と航空安全の強化に取り組む人々に積極的に参加するでしょう。
  - b) 彼は自分自身と彼の職業に対する信用を反映する方法で彼のすべての業務を行います。



- c) 彼は彼の隣人、友人、知人に彼が職業と ALPA の両方を代表し、彼の行動が彼らに職業と ALPA のすべてのメンバーの行動と性格を代表していることを思い出すでしょう。
- d) 彼は、アルコールの服用によって違反を犯すことによって、その高い公衆の尊敬と自信に満ちた職業を奪い、偏見を助長することは間違いないことを理解するでしょう。
- e) 彼は、他のパイロット、航空業界、職業、または ALPA に信用を落とす可能性のある方法で、記事を公開したり、インタビューを行ったり、彼の名前を使用することを許可しません。
- f) 彼は、そのような知識に大きく依存する彼のスキルと判断が最高のオーダーになるように、航空の発展に遅れをとらないようにし続けるでしょう。

航空会社パイロットのガイダンスに対する ALPA の倫理綱領を忠実に履行するために最善を尽くすことから、パイロットは自らを「エアライアン パイロット」と称するでしょう。

## パイロットの健康 (Well Being)

### ミッションステートメント

パイロットの健康はメンタルヘルスの基本的な要素であり、プロのパフォーマンスに影響を与える身体的、心理的、社会的、感情的なニーズが含まれます。パイロットウェルビーイングプログラムは、個々のパイロットが、精神のおよび感情的なウェルビーイングの感覚に影響を与えている個人的、関係的、専門的な問題の影響を受けるリスクがある、個人パイロットのための機密環境を作成することを目的としています。

### 前書き

パイロットは、運用上および職業上のストレスに継続的に対処し、管理します。彼らの私生活や家庭生活での出来事は、彼らのストレスを増すかもしれません。パイロットに対するこれらの要求はしばしば関連しており、相互に排他的であることはめったにありません。累積的な影響は、それらが苦痛を引き起こし、健康に影響を与え、場合によっては専門職のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

このセクションは、このマニュアルに含まれる次のセクションと併せて読む必要があります。

- 守秘義務と法的義務
- トレーニング
- 一般的なピアサポートプログラムポリシー

### 用語

**ウェルビーイング:** このプログラムで使用されるウェルビーイングの実用的な定義は、プロのパフォーマンスに影響を与える身体的、心理的、社会的、感情的なニーズを指します。

**パイロットのウェルビーイング:** パイロットのウェルビーイングとは、これらのストレス要因が個人の気分、意味の感覚、運用パフォーマンスに与える影響を指します。

**ウェルビーイングモデル:** ディスカッションのフレームワークは構造化され、ソリューションに焦点を当てる必要があります。アクティブで反射的なリスニングスキルと組み合わせると、このフレームワークを適用して、パイロットの健康に影響を与え、パフォーマンスに影響を与えるトピックに関するディスカッションを導くことができます。

### ウェルビーイングとは？

このプログラムは、パイロットが結果を恐れることなく懸念事項に対処する安全で機密性が高く、判断力のない機会を得られるようにすることを目的としています。

パイロットは、波及の恐れ、危機の認識の失敗、非難などのいくつかの理由により、自分の健康に関して容易に助けを求めません。パイロットがこれらのサポートにアクセスする機会と適切な環境を提示することは、健康プログラムの責任です。

### 方針

ウェルビーイングポリシーは、パイロットが圧倒され、ストレスを感じ、状況を解決するための道筋がわからない状況に直面しているパイロットに対して、熟練した機密の体系的なピアサポートを提供することを目指しています。その意図は、感情的なサポートを提供し、回復力を構築し、適切な解決策を見つけやすくすることです。

ポリシーは、パイロットが幸福感に悪影響を及ぼし、運用パフォーマンスに影響を与えている問題または状況に対処するためのサポートコンテキストを作成することです。ウェルビーイングの会話は、薬物依存症や重大なインシデント対応プロトコルなど、ピアサポートの別の形では対応できないトピックに対処するように設計されています。

### 原則

パイロットの幸福と専門的なパフォーマンスに影響を与えている状況に対処するためのパイロットへのサポートの提供の原則と手順を以下にまとめます。このプロセスは、国際的なベストプラクティスと整合しています。

- ウェルビーイングピアサポートは、ピアサポート、心理的応急処置、アクティブリスニングの原則に基づいています。
- 主な能力は、解決策に向けたオプションとリソースに関するディスカッションを導くための積極的で反射的なリスニングです。必要に応じて、ピアはパイロットをサポートして、より熟練した評価と介入の必要性を特定し、それらを探求することをサポートします。

- アプローチは弾力性に基づいており、パイロットを機知に富み、健全で、全体として回復可能なものと見なします。
- ピアは、パイロットが自分の状況を制御し、彼らの危機を解決する責任を負うように力を与えることを求めています。彼らはパイロットから責任やコントロールを奪うことはありません。
- ピアの役割は短期的で支援的であり、治癒的または治療的ではありません。この役割では、ピアは、ピアサポートとして規定されている2つのプロトコル、つまり機密性と、エスカレーションと照会を遵守します。
- ピアはサポートの要求に応答し、招待されたときにのみ介入します。サポートは、求められた場合、常に自発的に参加しています。
- 基本原則は、「害を及ぼさないこと」です。この観点から、健康的なディスカッションは、同僚または彼らがサポートしている人に害が及ばないことを確実にするために指導され、監督されます。

## トレーニング

訓練は熟練した仲間になるために不可欠です。**Wellbeing** トレーニングには、パイロットとの共同作業の経験があるメンタルヘルスプロフェッショナル/メンタルヘルスペシャリストが参加することをお勧めします。

健康的な会話の主な能力は次のとおりです。

- アクティブで注意深いリスニング、
- トラウマの理解、
- パイロットに影響を与える心理的問題、および
- 熟練した介入と役割の境界への紹介の必要性を特定する能力。

そして以下の提言：

- アクティブで反射的なリスニングスキル、
- 心理的な応急処置、
- 構造化された、ソリューションに焦点を当てた会話を促進し、
- 要求されたとき、または必要に応じて、または飛行の安全性に懸念がある場合のエスカレーションと紹介。

## 役割と責任

仲間がパイロットをさらなる害から保護するために彼らの役割の境界を尊重することが不可欠です。ピアが危害を加えないようにし、プログラムの整合性を保護します。

## ピアの役割

- 聞く：アクティブなリスニングスキルを活用して、懸念事項に関するパイロットとの会話を促進します。
- 独自の解決策を見つけるための支援を求めるパイロットをサポートし、解決に向けて実行する手順を特定する
- 熟練した介入が必要な場合は、医療専門家にご相談ください
- メンタルヘルスまたは飛行の安全に関連する問題が発生した場合は、チーム **MHP** に相談して報告する

## ピアの責任

- パイロットが自分の問題を解決する能力、および自発的なサポートを求めることに注意してください。
- ピア間の会話のための安全で敬意のある機密の環境を提供し、パイロットとの信頼を築く
- アクティブリスニングを使用して、パイロットが自分の問題に責任を持つように力を与える
- 最初のディスカッションで、同僚の役割と機密保持について説明する
- 機密保持のために全力を尽くす
- 次の場合は、熟練したサポートを受けてください。
  - その人は、平均3回の会話の中で状況の適切な解決に向けて進んでいない
  - その人が専門家のサポートを要求したとき
- 通話を処理するときにメンターに簡単な説明をする
- 定期的なピアチームのトレーニングと監督に参加する
- 個人または専門家の飛行の安全性に関する懸念を報告する

## メンタルヘルスプロフェッショナル (MHP) の役割

メンタルヘルスの専門家がパイロットを管理する規則と規制に精通していることが推奨されます。ウェルビーイングプログラムでは、**MHP** がピアウェルビーイングの効果的な介入によってパイロットをどのようにサポートできるかを理解する必要があります。**MHP** の役割は、ウェルビーイングディスカッションに従事している仲間に報告することです。これには以下が含まれます。

- 議論を導くために使用されるフレームワークを改訂する
- 可能なリソースの特定

- 仲間のセルフケアと健康を確保する

### メンタルヘルス専門家（MHP）

心理学者または修士レベルのソーシャルワーカーであり、できれば航空パイロットとしての経験を持つ、適切な資格を持ち、経験豊富なメンタルヘルスプロフェッショナル。これらの MHP は次のようにトレーニングされます。

- 仲間の役割と組織の運営を理解する
- 組織の強調と健康への影響を理解し、
- 航空における心理社会的な安全リスクを理解し、
- 飛行の安全に対する潜在的な脅威を特定して処理する
- パイロットの診断の影響を理解し、
- 健全な議論を導くために使用されるフレームワークを理解する。

MHP の契約サービスは、パイロットの幸福、仲間の介入を超えたエスカレーションと紹介プロセス、および職務復帰の評価を管理するための協調的アプローチの開発と統合を必要に応じて支援するために関与する必要があります。

メンタルヘルスの専門家の責任は次のとおりです。

- 特定の状況での回復力とメンタルヘルスをサポートする方法について仲間に助言し、監督する。
- 必要なりソースまたは紹介を提供する。
- 飛行の安全に影響を与えている精神疾患や精神障害について、門番として行動する。

必要に応じて、プログラムの同意を得て、飛行の安全性に影響を与える可能性のある非常に特殊な状況に関してオペレーターとの仲介役を務める

## 適用

### 範囲

パイロットウェルビーイングプログラムは、状況に直面しているパイロットや、自分のウェルビーイングに悪影響を及ぼしているパイロット、または他のウェルビーイングに懸念を抱いているパイロットの最初の訪問先として機能する場合があります。このプロセスは、成功したピアサポートプログラムのベンチマークセクションで詳しく説明されているように、機密性の範囲内で機密情報として扱われます。

### ピアツーピアコンタクトのコアコンセプト

ウェルビーイングディスカッションのフレームワークは、5つの大きなステップで構成されています

- 連絡先の境界を確立する
- 問題を聞いて明確にする
- 探索オプション
- ソリューションを特定する
- 問題を解決するために行動するために責任を取り、自分自身に（仲間に対して）説明責任を負わせるようにパイロットを励ます
- 次のステップの決定、フォローアップおよび/または紹介を含む

### 連絡手段

パイロットのウェルビーイングに関するディスカッションには、いくつかのチャネルからアクセスできます。各プログラムは、関係する第三者による紹介に関するいくつかの重要な側面を決定する必要があります。

- 自身によるリファー
- 会社の紹介
- 家族または友人
- 長期的な病気：干渉することなくサポートを提供するように要請されたケースバイケースの基準で

これらの議論の激しい性質のため、ピアディスカッションは徹底的に報告されることが推奨されます。パイロットのメンタルヘルスの状態について懸念がある場合、ピアは、チームに関係する MHP に、迅速なサポートを提供する方法と、次に参照する戦略を開発する方法について相談する必要があります。

### 連絡先の境界の確立

この段階でサポートのために手を差し伸べているパイロットが危機的状況にあり、彼らの状況が彼らの制御を超えていると感じているかもしれないことを認めることは不可欠です。多くのパイロットは非常にスキルの高い問題解決者であり、サポートを要求するにはかなりの勇気が必要であることを認識することが重要です。パイロットの安全なコンテキストを作成するには、記録保持、報告、機密性、およびディスカッションの期間に関する明確なガイドラインを含め、ピアサポートの境界と範囲を明確にする必要があります。

ピアチームの規模と経験レベルに応じて、ディスカッションが適切かつピアの能力内で確実に処理されるように、メンターピアとのブリーフィングとデブリーフィングディスカッションを通じて、ピアの関与がガイドされます。デブリーフィングは、ディスカッションの内容ではなく、ピアがどのように議論を進めたかを調査することです。

航空機内/航空機内でピアが非公式のピアサポートディスカッションに参加することは推奨されません。適切な時間と場所にディスカッションを延期する方が適

切な場合があります。航空機はしばしばピアディスカッションの理想的な機会を提供するように見えますが、それはストレス、中断のない安全なコンテキストではなく、パイロットがパイロットとそのニーズに完全に注意を向けることができないことを認識する必要があります。

### 紹介とフォローアップ

ピアはパイロットと、サポートのさらなる必要性とその進捗状況をフォローアップする方法について交渉します。フォローアップして同僚に報告することを選択するのはパイロットの特権です。

### エスカレーションと紹介ポリシー

仲間やメンターがパイロットの精神状態や飛行の安全性について懸念を持っている場合、この懸念は関係する MHP に直ちに伝達する必要があります。

パイロットがピアとの平均3回のコンタクトセッション内に解決策を見つけられない場合、ピアは状況全体を上司と話し合っ、ピアがさらに2つのディスカッションを続けることができるか、ピアにすぐに影響を与えるよう依頼するかを決定する必要があります専門家のサポートのため。

### 結論

パイロットは、専門的なパフォーマンスに影響を与える大きなストレスと要求に直面しています。職場の要求とストレスの悪影響を緩和するために、職場の同僚のサポートは、認められた形式のサポートです。パイロットの作業の安全性が重要な性質であることを踏まえると、ピア主導の幸福プログラムは効率的かつ効果的であり、パフォーマンスに影響を与える可能性がある状況に対処するパイロットのサポートにプラスの影響を与えます。

## ボランティアの燃え尽き症候群を回避する

プログラムにはスタッフが配置され、ボランティアが限られた時間とリソースを使用してピアサポートの役割を果たします。同業他社が職務を遂行し、トレーニングに参加し、燃え尽き症候群と思いやりの疲労を回避できるようにするには、業界が正式に作業を承認し、サポートすることが重要です。スポンサーシップ、サポート、および代わりに時間は、ピアサポートの持続可能性を確保する方法です。

## 会員団体が利用できるリソース

すべてのプログラムリソースは、会員団体が利用でき、独自のピアサポートプログラムを開発するために、必要に応じて描画および複製できます。協会が知識、経験、学んだ教訓を含むすべてのリソースを共有することをお勧めします。ピアボランティアは必要に応じてグローバルに支援します。

## 別添 A : エスカレーショントリガーとプロトコルの例

この例はオーストラリアの PAN によって提供されています。この例を使用する会員団体は、自国の状況を反映するようにそれを改訂することを検討する必要があります。

### 医療専門家への紹介

PAN サポートボランティア (PSV) の主なタスクは、パイロットおよび航空管制官のピアを保持している航空機のライセンスで、専門的および個人的な問題を支援することです。

支援は、ピアサポートスキル、ピアと対話するときの非批判的で共感的なリスニングスキルの使用に重点を置いています。

PSV は、この範囲を超える支援が役立つと考える場合があります。

これらの場合、PSV は次のことを行います。

1. 懸念事項について仲間と話し合う。
2. 適切な医療専門家の関与を提案します。PAN 心理学者、GP、AME、社医または Company EAP。
3. 必要に応じて、ピアが適切なサービスにアクセスできるよう支援します。

PSV が仲間の個人の安全または他者の安全が危険にさらされていると見なした場合、PSV は次のことを行いません。

1. 時間が許せば、PAN 心理学者から話し合い、ガイダンスを得る。
2. 専門家の助言を求める必要性について同僚と話し合い、次に専門家が専門家の助言を求めたことを支援または確認します。
3. 必要に応じて、ピアの AME が通知されていることを確認します。
4. 同僚が適切な医療専門家からの支援を求めることを拒否した場合、Company Medical または他の適切なサービスに健康問題が通知されることを同僚に通知します。

PSV が人身傷害のリスクが差し迫っていると判断した場合、メンバーはピアとのコミュニケーションを維持し、ライラインまたは警察および緊急サービス、つまり「111」を含むがこれらに限定されない適切な緊急医療サービスからの迅速な支援を求めます。海外の場合、フライトオペレーションは迅速かつ適切なサポートを提供できません。

### 「Fitness for Duty」が侵害された場合のフライトの安全性確保

「Fitness for Duty」に関するパイロットまたは航空管制官の責任は、民間航空法 1990 パート 2 またはオーストラリア AOC の下で操縦する航空機乗組員に対する CASR67 に規定されています。これらの義務は、個々の航空会社の説明/ポリシーによってさらに定められる場合があります。

これらの要件を順守するのは主に個々のライセンス所有者の責任ですが、まれに、PAN サポートボランティア (PSV) が、この責任に適切に対応できない、またはこの責任の重大な違反を無視するというピアの意図について、ピアに警告される場合があります。

これらの稀なケースでは、PSV は次のことを行います。

1. 彼/彼女の懸念について話し合い、義務に対して「利用できない」必要性和、そうするために利用できるオプションを仲間に説明します。
2. ピアが準拠するつもりがない場合は、匿名化された状況について別の（理想的には経験豊富な）PSV と話し合います。
3. PSV が依然として「Fitness for Duty」が個人または公衆の安全が危険にさらされる程度に危うくされと考えている場合、メンバーはその状況を仲間と再度話し合います。
4. ピアがまだ利用できないことを報告することを拒否する場合、PSV はピアの医療検査官に状況を通知する責任を説明し、ピアに代わって報告することを提案します。
5. ピアがまだ利用できないことを報告することを拒否する場合、PSV はピアに代わって報告することであり、ボランティアに報告する意思をピアに明確に伝えます。<sup>1</sup>

ステップ 5 に達した場合、PSV は次のようになります。

1. PSV の懸念事項を匿名化して、適切なシニアオペレーションマネージャーに通知します。
2. 可能な場合は機密性を維持し、オペレーションマネージャーの対応を確認します。
3. 可能であれば、この応答をピアに通知し、必要に応じて、連絡が取れないことを報告するよう再度連絡先に勧めます。
4. ピアが拒否を続ける場合は、担当者が適切なシニアオペレーションマネージャーに識別されることを連絡先に通知します。

<sup>1</sup> 注記として、オーストラリアの PAN は 20 年の経験でステップ 5 の行動を実行したことは一度もありません



## 別添 B：心理学者サービスレベル契約の例

この例を使用する会員団体は、自国の状況を反映するようにそれを改訂することを検討する必要があります。

### ピアアシスタンスコンサルタント心理学者

#### サービスレベル契約

ここでは、ピアアシスタンスと署名されたコンサルタントの航空心理学者の間のサービスレベル契約について説明します。

この契約に署名することにより、署名者は彼/彼女の専門能力の最善を尽くすことに同意します：

- ピアアシスタンスプログラムの監視（トレーニング、ピアサポートボランティア（PSV）の監督、初回の紹介連絡のためのケースコンサルティングサービスを含む）。
- 航空の心理的問題に関する迅速で正確かつ独立したアドバイス。
- 必要に応じて、規制当局の医療要件に関する個々のメンバーの心理的問題に関する擁護。
- 地域および国際的な航空心理学の研究と、プログラムを強化するための合法的な情報源を利用できます。
- 政府の法律の変更に対する提出、および/または航空心理学に関連する問題に関する規制当局のポリシーレビューに関するアドバイスを提供します。
- 時折発生する可能性のある、相互に合意したその他の問題。

ピア支援委員会は、航空心理学者の立場を任命します。

年間コンサルティング料金\$ .....は、暦年の終わりに見直される場合があります。四半期ごとに4回に分けて請求書に基づいて支払われます。PANに関連するその他の旅費（合理的な宿泊施設や食事を含むがこれに限定されません）は、領収書の証拠として経費請求として支払われます。

本契約のいずれの当事者も、3か月前に通知することにより、書面により本契約を無効化することができます。

コンサルティング航空心理学者

ピアアシスタンスコーディネーター

署名： \_\_\_\_\_

署名： \_\_\_\_\_

名前： \_\_\_\_\_

名前： \_\_\_\_\_

日付： \_\_\_\_\_

日付： \_\_\_\_\_